

知性と教養を備えた保育者・栄養士を育成する。



保育学科 通信教育課程

おだたんオリジナルの学習教材

将来への不安はある。だから、もっと学びたい！

選ぶ8つのスクーリング会場

一人ひとりに寄り添う  
キャンパスアドバイザー

あなたの  
「学びたい」  
応える支援

夢がかなう！  
ここなら、きっと

仕事と両立  
できるのが  
うれしい  
スクーリングで  
仲間と出会える

実現  
あなたの夢をオンラインで

担当教員へいつでも相談できる！





おだたんの通信教育で、  
私は夢をあきらめない。  
忘れられない想いがある。どうしても叶えたい願いがある。  
今よりもっと輝く自分になるために、夢に向かって進む勇気と情熱を胸に、  
私はおだたんの通信教育を選びます。





# ライフスタイルに合わせて学べる おだたんの学習システム。

## テキスト科目

テキスト科目では、教科書と学習のポイントがまとめられた『**学習の手引き**』を使用して、**自宅学習**を行います。1科目につき、中間試験・科目修得試験をそれぞれインターネット受験し合格すると、**単位修得**となります。



「**オフィスアワー**」や「**キャンパスアドバイザー制度**」などの学習サポートが充実！

## スクーリング科目

実践的な技術が必要な科目、演習などの実技を行う科目は、**対面での授業**を実施します。忙しい方でも受講しやすいように、**土・日・祝日**に開講しています。



一部のスクーリング科目はメディアを利用した**オンデマンド形式**を採用！



## 教育実習・保育実習

実習では、それまでに学習した知識や技術をもとに、**幼稚園、保育所や施設などの現場で実践力**を身に付けることができます。免許・資格を取得するためには、定められた期間の実習を行う必要があります。



●**実習指導(事前・事後)**  
実習に参加する前には現場で必要とされる技術や知識の確認や心構えの指導、参加後にも課題点などの指導を行うので安心して実習に参加できます。

## 卒業研究（選択科目）

各指導教員の専門分野に沿って学生が地域での調査等を通じた事例研究を行い、卒業論文を執筆します。

※正科生のみ



充実の学習システムで、  
毎年、すぐれた成果を残しています！

〈 単位修得率 〉

84%

〈 卒業率 〉

71%

※2023年度入学生が2年間で卒業した割合

# テキスト科目

「教科書」と『学習の手引き』の組み合わせで、専門的な知識を幅広く効率的に学ぶことが可能。『学習の手引き』は教員が長年の経験から培ったノウハウを凝縮したおだたんオリジナルテキストです。

## 学習教材の特徴

### 教科書

履修する科目ごとに教科書を購入します。

### おだたん オリジナル

### 『学習の手引き』

テキスト科目における学習のポイントや課題がまとめられています。

Step

1

#### 教科書・『学習の手引き』で学習を進める

学習のポイントが詰め込まれている『学習の手引き』と教科書を使って、理解を深めます。

Step

2

#### 「理解度テスト」と「レポートテスト」に取り組む

各講の内容がしっかり身についているかをチェックするために「理解度テスト」と「レポートテスト」を行い、学習の定着を図ります。こちらは学習を深めていただくものであるため、課題の提出等はありません。

Step

3

#### Web中間試験の実施

自己学習が終了したら、インターネット上で中間試験を受験します。期間中、合格になるまで何度でも受験可能です。

Step

4

#### Web科目修得試験の実施

最後にWeb科目修得試験を受験します。年に4回ある試験期間(各回3日間)の中で、ご自身で科目を選んで受験します。試験期間中は24時間受験可能です。Web科目修得試験に合格したら単位修得です。

## 『学習の手引き』を使った学習の進め方

左ページ: テキスト学習

右ページ: テスト

#### 重要な語句

各章に登場する大切な語句がピックアップされています。

#### より学びを 深めるために

基礎の学びにプラスアルファで理解したいテーマについての課題です。

| 第1講 幼稚園教育要領・保育所保育指針における「人間関係」① |                                                                                          |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教科書                            | 第1章 第2～37                                                                                |
| 学習目標                           | 主領域の1つである「人間関係」の位置づけとその特徴を学ぶ。<br>副域「人間関係」の要点を整理し、この副域の意義を総合的に理解できるようにする。                 |
| 達成目標                           | 重要な語句(教科書でできるようにしよう)<br>副域「人間関係」<br>総合的な学習                                               |
| 学習目標                           | 「より学びを深めるために」<br>p.11～12のワークをして、幼稚園教育要領の「人間関係」の平成元年版、平成10年の改訂版、平成20年の改訂版を比較し、違いを見つけてみよう。 |
| 学習記録シート                        | ＜任意記入＞<br>学習上理解したことなどを記入してください                                                           |

| 第1講 幼稚園教育要領・保育所保育指針における「人間関係」① |                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 科目名                            | 人間関係指導法                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 第1講                            | 幼稚園教育要領・保育所保育指針における「人間関係」①                                                                                                                                                                                                                                         |
| 学習番号                           | 10000000                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 氏名                             | 小田 花子                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 学級番号                           | 10000000                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 学年                             | 小4                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 学期                             | 第1学期                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 授業日                            | 2023年 5月 15日                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 授業時間                           | 10:00～11:00                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 授業内容                           | 「人間関係」は、人との関わりに関する(① 関係性)として、平成元年(1989年)改訂の幼稚園教育要領から設定されているが、そこで目指している方向は、「他の人々と関わり、支えあって生活するために、(② 助け合い)を育て、(③ 人間関係)を築く」ことである。<br>・乳幼児期の子どもにとっては、ただ人がいるだけでなく、そこに、より豊かな人間性を持ったかわりできる(④ 関係性)の大人の存在が重要である。<br>・子どもの成長、発達には、大人との関わりだけでなく、(⑤ お互い)のかわり合いの重要性も明らかにされている。 |
| レポートテスト                        | p.17の「第1章の学習目標」3に取り組みなさい。<br>幼稚園の子どもにとって「けんか」の体験も必要といわれているが、「けんか」を通して育つ「人とかかわる力」はどのようなものがあるか、様々な視点から考え整理しなさい。<br>けんかを通して育つ「人とかかわる力」はどのようなものがあるか、様々な視点から考え整理しなさい。                                                                                                   |
| 評価                             |                                                                                                                                                                                                                                                                    |

#### 理解度テスト

教科書のキーワードの穴埋め形式や、○×形式の問題です。

#### レポートテスト

各講のポイントとなるテーマの記述式の問題です。



## 学習支援システム「CoLS(コルズ)」

インターネット接続が可能な環境であれば、いつでもどこでも履修状況の確認や、学校からのお知らせ情報を確認することができます。



### CoLSでできること

- お知らせ確認
- 成績確認
- 履修登録
- 遠隔授業の受講
- 履修科目、スクーリング日程などスケジュール確認
- Web科目修得試験の受験
- Web中間試験の受験
- 各種書類のダウンロード

### Point

### 試験はすべてWebで完結！

中間試験・科目修得試験は、すべてインターネット上で行うため、期間中であれば24時間自宅にいながら受験することが可能です。仕事や家事で忙しい方でも自分のライフスタイルに合わせて受験できます。



## Student Voice

勉強が苦手な私でもスムーズに学習ができています。



おだたんのパンフレットは入学から卒業までのイメージがしやすく、ここなら安心して学習に取り組みそうだと思い入学を決めました。テキスト科目は『学習の手引き』のおかげでポイントが掴みやすく、理解を深める上でとても役立っています。また、自分のペースで学習を進められるため、パートタイムの仕事と両立しながら無理なく学習を継続できています。現在は教育実習に向けて、必要な知識の修得に励んでいます。

日原 愛里 さん  
こども保育コース 2年

# スクーリング 科目

土・日・祝日を利用して学べる「対面型スクーリング」と  
オンラインで学べる「オンデマンド型スクーリング」があります。  
それぞれのライフスタイルに合わせて受講することが可能です。

## 2つのスクーリング形態



### 土・日・祝日を利用して学ぶ 対面型スクーリング

土・日・祝日を利用して2日間もしくは3日間で1科目を履修します。同じ科目を集中して開講するので、予習や復習がしやすいスクーリングです。



### メディアを利用して学ぶ オンデマンド型スクーリング

視聴期間中いつでも、どこでも、何度でも動画を視聴することができ、課題に取り組むことができるので、ライフスタイルに合わせて学習することが可能です。

## 一部のスクーリング科目はインターネット上で受講可能！

一部のスクーリング科目は、自宅等で受講できるオンデマンド形式を採用しています。  
それにより、通学日数を最小限にしています。

約20日の出席

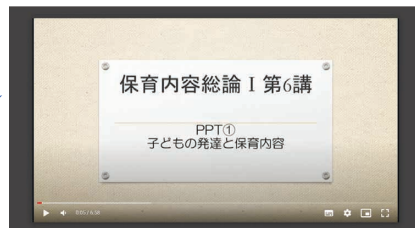


+

オンデマンド型  
スクーリング



免許・資格取得までに20日間程度の出席(実習系科目を除く)が必要です。



### 横浜関内スクール



〒231-0033  
神奈川県横浜市中区  
長者町4-9-10-8F  
徒歩 横浜駅地下鉄  
ブルーライン  
「伊勢佐木長者町駅」  
から徒歩1分

### 小田原キャンパス



〒250-0045  
神奈川県小田原市  
城山4-5-1  
徒歩 JR「小田原駅」から  
徒歩15分

### 大阪スクール



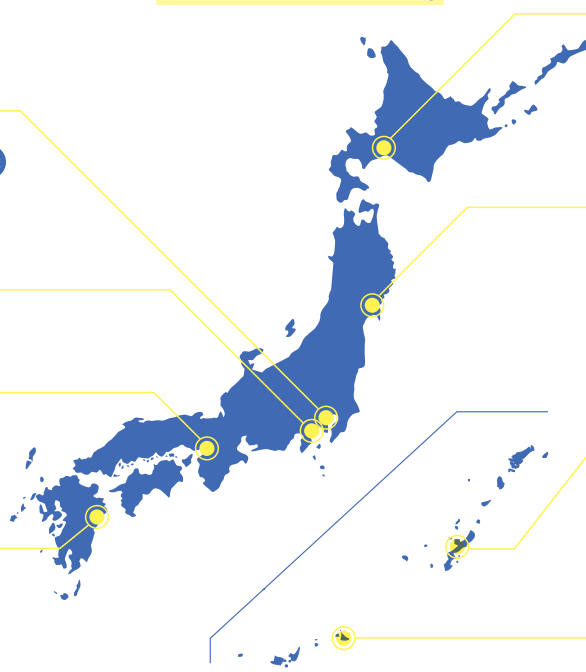
〒532-0011  
大阪府大阪市淀川区  
西中島5-7-23  
徒歩 JR「新大阪駅」  
正面口から徒歩5分

### 延岡スクール



〒882-0054  
宮崎県延岡市栄町  
2番地9  
徒歩 JR「延岡駅」西口から  
徒歩5分

## 8つのスクーリング会場



### 千歳スクール



〒066-0042  
北海道千歳市東雲町  
3丁目2-6  
(千歳商工会議所内)  
徒歩 JR「千歳駅」から  
徒歩12分

### 登米スクール



〒987-0331  
宮城県登米市米山町  
中津山字筒場塚215  
車 JR「瀬峰駅」または  
「田尻駅」から  
車で18分

### 名護スクール



〒905-0011  
沖縄県名護市宮里  
5-13-7  
(名護市立大宮幼稚園内)  
徒歩 JR「護国」または  
「宮里一丁目」から  
徒歩5分

### 宮古島スクール



〒906-0007  
沖縄県宮古島市  
平良東仲宗根807  
(宮古島市  
未来創造センター内)  
車「宮古空港」から  
車で8分



## 対面型スクーリング授業



### 音楽表現

幼児の音楽的遊びや生活と領域「表現」の関連性、幼児の音楽的発達を理解します。様々な音楽的表現活動を通して音楽の楽しさを味わうとともにその楽しさの要因を音楽的知識から探ります。また音楽表現活動を通して他者の表現への共感や表現を豊かにしていく過程を学び、幼児の音楽表現活動計画を立案し実践します。



### 言語表現

おはなし、紙芝居、絵本、パネルシアター、ペープサート、人形劇など、こどもの言語発達に関わる児童文化財の特性や扱い方を学ぶとともに、集団を前にしての実践と相互批評を通して、保育者として現場で活かせる技能(特に「おはなし」は必ず自分のレパートリーを持つ)と心を身につけます。



### 身体表現

こどもの身体運動に関する基礎的な知識を理解するとともに、保育者としての運動技能や身体表現力を高めることを目指します。模擬保育などの実践を通して遊びを豊かに展開するために必要な技術を修得します。さらに、幼児が興味・関心を示し、安全で積極的に身体表現活動に関わるような実践法について学びます。



## Student Voice

スクーリング科目は学ぶモチベーションをさらに高めてくれます。



“こどもの成長”という大切な時期に深く関わり、こどもたちの役に立ちたいと思い、保育の分野を志しました。通信制での学びに不安はありましたが、周囲の評判がとても良かったため、おだたんへの入学を決意しました。評判通り、スクーリングの質の良さは素晴らしく年代もライフスタイルも異なる学生が個々の目標を尊重し合いながら学んでいます。キャンパスアドバイザーのサポートも手厚く、アドバイスをいただきながら充実した学生生活を過ごしています。

増田 奈々子 さん  
こども保育コース 2年

# 教育実習 保育実習

免許・資格を取得するためには、定められた期間の実習を行う必要があり、学習した知識や技術をもとに、幼稚園、保育所や施設などの現場で実践力を身につけます。実習の前後には丁寧な指導を行います。



段階的な指導で、実習を  
より充実したものにします！



|       |       |                          |
|-------|-------|--------------------------|
| 幼稚園実習 | 取得免許状 | 幼稚園教諭二種免許状               |
|       | 必要単位数 | 合計5単位                    |
|       | 内容    | 「教育実習」4単位<br>「教育実習指導」1単位 |
|       | 実習期間  | 約4週間(20日間)               |
|       |       |                          |

|      | 実習種別       | 実習日数               | 単位数 |   |
|------|------------|--------------------|-----|---|
| 保育実習 | 保育実習I(保育所) | それぞれ10日間以上かつ90時間以上 | 2   | 6 |
|      | 保育実習I(施設)  |                    | 2   |   |
|      | 保育実習指導I    |                    | 2   | 3 |
|      | 保育実習II     | それぞれ10日間以上かつ90時間以上 | 2   |   |
|      | 保育実習指導II   |                    | 1   |   |
|      | いずれか必修     |                    |     | 3 |
|      | 保育実習III    | それぞれ10日間以上かつ90時間以上 | 2   |   |
|      | 保育実習指導III  |                    | 1   |   |

## 実習指導

実習前から終了後のフォローまで、  
懇切丁寧にサポートします。

実習参加前には現場で必要とされる技術や知識の確認や心構えの指導、参加後には課題点などの指導を実施。実習期間中はひとりの実習生として、幼稚園・保育所等で保育者としての成長を目指します。実習中の不安なことや気になることも、科目担当教員やキャンパスアドバイザーによるサポート体制が整っているため、安心して実習に臨むことができます。

### サポート例

#### 実習前

- ・実習生としての心構え指導
- ・実習事前面接
- ・保育指導計画案

#### 実習中

- ・実習先の訪問と巡回
- ・実習先の保育者との連絡・連携
- ・専門的事項の相談・支援

#### 実習後

- ・実習のふりかえり
- ・実習事後評価面接
- ・個別相談・就職相談



# サポート

すべての学生が不安なく学習を進められるよう、  
通信教育だからこそ、サポート体制をしっかりと整えています。

科目担当教員に質問・相談が可能!

## オフィスアワー



学生が安心して学習を進められるように、担当教員へ質疑応答を行うことができる、オフィスアワーを設けています。学習の中で分からないところなどを気軽に相談することが可能です。

### サポート例

科目の内容、指導案の書き方、こどもとの関わり方など学習を進める中で出てくる疑問を相談できます。

学生一人ひとりを徹底サポート

## キャンパスアドバイザー制度



教育・研究指導とは別に、学生生活全般のサポートはキャンパスアドバイザーが行います。学習の進め方や事務的なことで分からないことがあったときに相談できる本学独自のサポート制度です。

### サポート例

履修の仕方、学習の進め方、実習先の開拓など、入学から卒業、免許・資格取得まで、幅広くサポートします。

キャンパス  
アドバイザーから



学校生活で困ったことがあれば、いつでもお気軽にご連絡ください。学生の皆さんが、学習しやすいように手厚いサポートをいたします。履修科目や学習の仕方、実習先の開拓等お困りのことがあれば、キャンパスアドバイザーが丁寧に対応いたします。本学を卒業して、保育人としてご活躍いただくことを心から願っています。

自信がない方でも安心! マンツーマンの無料レッスン

## 個別ピアノレッスン



通信教育で学ぶ学生の中には長らくピアノから離れていた方やピアノの演奏にあまり自信がない…という方も少なくありません。本学ではそのような学生の不安を解消するため、マンツーマンでピアノレッスン(無料)を開講しています。個人のスキルに合わせた個別指導をピアノ練習室で行うため、安心して練習することができます。

※ピアノレッスンは小田原キャンパスでのみ開講しています。  
※単位の修得には一切関係ありません。  
※希望者のみ。  
※1レッスン最大5名。(予約制)

# 正科生

詳しくは  
こちらから



大学入学資格があり、正規の短期大学課程の卒業を目指す方を指します。

卒業に必要な科目の履修に加え、免許・資格取得に必要な授業科目を履修することで、卒業時に幼稚園教諭二種免許状・保育士資格の取得を目指すことができます。

2年制

## こども教育コース

めざす資格▶

幼稚園教諭二種免許状

| 学 費 | 2年間で … 約700,000円程度

2年間で幼稚園教諭二種免許状の取得をめざすコース。卒業、幼稚園教諭免許取得に必要な単位数は62単位（スクーリング15単位以上含む）です。

主な  
学習内容

- 保育者論
- 健康指導法
- 教育原理
- 保育の心理学
- 教育の方法と技術
- ほか

|        | 1年次      | 2年次      |
|--------|----------|----------|
| 入学金    | 20,000円  | 0円       |
| 授業料    | 270,000円 | 270,000円 |
| 学習管理料  | 5,000円   | 5,000円   |
| 学生証発行料 | 500円     | 0円       |
| 合計     | 295,500円 | 275,000円 |

※上記の金額に別途、実習費、テキスト代、免許申請料がかかります。  
※卒業年次に諸経費（同窓会・卒業記念品費）8,000円を徴収します。その他、証明書発行等のご希望による諸経費については都度の徴収となります。

3年制

## こども保育コース

（2年+専攻科1年）

めざす資格▶

幼稚園教諭二種免許状

保育士資格

| 学 費 | 3年間で … 約800,000円程度

3年間で幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の取得をめざすコース。卒業、幼稚園教諭免許、保育士資格取得に必要な単位数は75単位（スクーリング15単位以上含む）です。

主な  
学習内容

- 子どもの食と栄養
- 保育実習指導
- 子育て支援
- 教育原理
- 乳児保育
- ほか

|        | 1年次      | 2年次      | 3年次     |
|--------|----------|----------|---------|
| 入学金    | 20,000円  | 0円       | 0円      |
| 授業料    | 270,000円 | 270,000円 | 30,000円 |
| 学習管理料  | 5,000円   | 5,000円   | 5,000円  |
| 学生証発行料 | 500円     | 0円       | 0円      |
| 合計     | 295,500円 | 275,000円 | 35,000円 |

※上記の金額に別途、実習費、テキスト代、免許・資格申請料がかかります。  
※卒業年次に諸経費（同窓会・卒業記念品費）8,000円を徴収します。その他、証明書発行等のご希望による諸経費については都度の徴収となります。

## 1年制 専攻科生

正科生を卒業後、保育士資格の取得を希望する場合に、必要な科目を修得することができます。



めざす資格▶

保育士資格



### STUDENT VOICE

#### 保育補助として働きながら 免許取得を目指しています。



白岩 真弓さん  
こども教育コース 2年／保育補助

仕事と勉強の両立等、入学前はとても不安な気持ちもありましたが、サポートをしてくださる先生方や同じように頑張る仲間に出会えるので安心

です。テキスト科目は、『学習の手引き』と教科書を読みながら進めることで、効率的に勉強ができます。また、対面で受講できるスクーリング科目は、とても内容の濃い授業で貴重な経験でした。今後もきちんとした知識をもとに仕事に向き合っていきたいと思います。小田原短期大学で頑張った時間は一生の宝物です。



目的に応じて必要な科目を履修したい方

## 科目等履修生

詳しくは  
こちらから



基礎資格のある方が、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格を  
取得するために必要な科目を履修する、もしくはこどもの発達や福祉について  
学びたい方が資格取得を目的とせず五領域を学ぶことができます。



最短  
半年～

### 保育士資格所有者 幼稚園教諭免許状取得コース

| 学 費 | 特例制度 … 86,000円 (1年間) 新特例制度 … 72,000円 (1年間)

保育士資格所有者が最短半年で幼稚園教諭二種免許  
状の取得をめざすコース。

特例制度 5科目8単位

新特例制度 4科目6単位

|     | 特例制度    | 新特例制度   |
|-----|---------|---------|
| 登録料 | 30,000円 | 30,000円 |
| 受講料 | 56,000円 | 42,000円 |

※受講料には、科目修得試験の受験料・再試験料、教材費、補助教材が含まれています。  
※その他、証明書発行等の諸経費については都度徴収となります。

最短  
半年～

### 幼稚園教諭二種免許状所有者 保育士資格取得コース

| 学 費 | 特例制度 … 86,000円 (1年間) 新特例制度 … 72,000円 (1年間)

幼稚園教諭免許状所有者が最短半年で保育士資格の  
取得をめざすコース。

特例制度 4科目8単位 (うちスクーリング1単位)

新特例制度 4科目6単位 (うちスクーリング1単位)

|     | 特例制度    | 新特例制度   |
|-----|---------|---------|
| 登録料 | 30,000円 | 30,000円 |
| 受講料 | 56,000円 | 42,000円 |

※受講料には、スクーリング受講料、科目修得試験の受験料・再試験料、教材費、補助教材が含まれています。 ※その他、証明書発行等の諸経費については都度徴収となります。

## 一般コース

高等学校や中等教育学校を卒業した方が、こどもの発達や福祉について学ぶことができます。

| 学 費 |

|     | 金額         |
|-----|------------|
| 登録費 | 30,000円    |
| 受講料 | 1単位 7,000円 |
| 教材費 | 約18,000円   |

※左記金額に別途、教科書、『学習の手引き』代がかかります。  
※受講料には、科目修得試験の受験料 (再試験料含む) ・スクーリング受講料が含まれています。

### 幼保特例制度・新特例制度

PICK  
UP

2015年から施行した「幼保連携型認定こども園制度」への円滑な移行・促進のため、幼稚園教諭免許状と保育士資格の取得要件の特例制度・新特例制度が2029年度末 (2030年3月末) まで設けられています。本学では通信教育課程に科目等履修生としてご登録いただくことが可能です。通信教育課程なら免許・資格取得に必要な科目を最短半年で修得できるので、ライフスタイルに合わせて無理なく取得することができます。

※詳細は募集要項をご確認ください。

## 体験学習

本学では、通信教育での学習を体験することができます。

Point  
1

体験後に正科生として入学したら**受講料分を学費から減免**します。

Point  
2

修得した単位は、**入学後に単位認定**されます。

| 体験受講料 |

|       | 金額         |
|-------|------------|
| 登録費   | 30,000円    |
| 体験受講料 | 1単位 7,000円 |

※左記金額に別途、教材費が必要となります。

| 受講モデル | 6単位登録した場合 … 登録料 30,000円 + 体験受講料 42,000円 (入学後に1年次学納金から減免)

# Student Voice

在校生・卒業生の声

幼稚園教諭になる夢を叶えるため、  
小田原短期大学通信教育課程に入学しました。

在校生



砂川 千春 さん  
こども保育コース 2年 / アルバイト

小田原短期大学には、キャンパスアドバイザー制度があり、学習面や実習の開拓、提出書類など、分からないことがあったら何でも相談できます。対面型スクーリングでは実践的な学習が多く、楽しい雰囲気の中で学習を進めることができスキルアップに繋がります。また、オンデマンド型スクーリングでは、期間中24時間いつでもどこでも、自分の好きな時間に受けられるということもあり、勉強計画がしやすいのが魅力です。入学する前は不安がたくさんあるかと思いますが、先生や職員の方がサポートをしてくれるので安心して学ぶことができます。

仲間と出会える  
対面型スクーリングが魅力。

在校生



押之見 絵里子 さん  
こども保育コース 2年 / 保育補助

保育補助として働いていましたが、担任をやりたいと思うようになり、おだたんへの入学を決めました。自宅学習だけではモチベーションを維持することが難しいですが、スクーリングで同期と会い、いろんな話をする事で不安もなくなります。また、先生方もみなさん素敵で、学ぶ楽しさを感じさせてくれることがとても魅力です。働きながら頑張っている自分が好きになり、私の40代の青春となりました。皆さんもぜひ一緒に頑張る、一緒に青春しましょう！

地域スクールがあり、  
通いやすいことが決め手でした。

在校生



田村 智子 さん  
こども教育コース 2年 / 保育補助

子育てや仕事をしていても、毎日コツコツと勉強をすれば無理なく学習を進めることができます。試験も決められた期間の中で自分の都合のいい時間に受験できるので、焦らずに学ぶことができます。対面型スクーリングでは先生や同期の仲間たちと学べるので、とても楽しいです。現在、保育補助として働いていますが、小田原短期大学で正しい知識やスキルを身につけて、やりがいをもって園で働くことが目標です。興味があることは年齢を気にせず、自分の力を信じてまずは挑戦してみてください。

小田原短期大学での学びを活かして、  
幼児教育にもっと深く携わりたいです。

在校生



林 みよ子 さん  
こども教育コース 2年 / 正社員

通信教育課程ではひたすら孤独に勉強するというイメージでしたが、おだたんはそうではないということが分かったので、入学を決めました。サポート体制がとても充実しており、メールや電話にもすぐに対応していただけます。おだたんのテキストは要点が分かりやすく、思っていたよりも楽しく勉強できました。仕事との両立を考えて通信教育課程を選択しましたが、対面型スクーリングで友達もできました。今は学んだ知識をこどもたちのために活かしたい気持ちでいっぱいです。

現場で活かせる技能面も  
しっかりと学ぶことができました。

卒業生



田口 陽奈子 さん  
2023年3月卒業 / 現在：せいぐ保育園勤務

学校の先生からの紹介で、おだたんの通信教育課程に進学しました。現在は、2歳児クラスの副担任として、こどもたちの成長を間近で見守る、充実した日々を送っています。おだたんの魅力は、知識だけでなく、現場で活かせる技能面も学べる点です。例えば、身体表現のスクーリングで学んだことは今の仕事でも運動会のダンスを考える際等にも役立っています。どのスクーリングも本当に楽しく、幅広い年代の方々と交流することができました。皆さん温かく、アットホームな雰囲気です、すぐに打ち解けることができました。アルバイトをしながらの学習でしたが、おだたんのカリキュラムは無理なくコツコツと進められるように工夫されているので、着実に単位を修得していくことができました。

働きながらも夢を諦めずに  
挑戦できるのがおだたんの魅力です。

卒業生



川井 雪江 さん  
2024年3月卒業 / 現在：びーまん保育園勤務

小さい頃から保育士を目指していましたが、出産・育児のため一度は諦めました。こどもが成長し、おだたんの通信教育課程であれば働きながらも学べることを知り、再び夢に挑戦しました。最初は不安だけでしたが、対面型スクーリングでできた仲間と励まし合い、楽しく乗り越えることができました。また、対面型スクーリングでは苦手なことも楽しみながらチャレンジすることの大切さを学びました。キャンパスアドバイザーのサポートも心強く安心して学習を進めることができました。トータルにかかる学費がしっかりと示されているのも安心のポイントです。

卒業生

Special  
Interview



つるの 剛士 さん  
2022年3月卒業

Q おだたんで学んでみていかがでしたか？

早めに年間学習スケジュールを頂けたので、所属事務所とも計画が立てやすく助かりました。学習時間は自宅が主でしたが、移動中の新幹線や、楽屋、移動先の宿舎…とにかく自分の環境に合わせて学習を進めました。またスクーリングでのグループ活動は大変勉強になり有意義な時間でした。一緒に学習した同級生はこれからも大切な友人であり、同志です。そしてなんとと言っても、教育実習での経験は毎日が感動で一生忘れないかけがえのない時間でした。徹夜で書いた実習日誌、こどもたちから貰ったお手紙 すべてが一生の宝物であり、初心に帰ることができます。



## よくあるご質問

Q 入学試験はありますか？

A 入学試験はありません。出願時に提出いただく書類（入学志願書）による書類選考を行います。

Q 入学には年齢制限はありますか？

A 年齢制限はありません。入学資格を満たす方ならどんなでも出願可能です。

Q 大学で取得した科目を改めて履修する必要はありますか？（単位認定）

A 他大学で修得した単位、あるいは取得した資格等により、最大30単位まで認定することが可能です。認定が想定される科目を出願時に申請し、書類による審査が実施されます。

Q 勤務先での実習はできますか？

A 可能です。ただし、実習期間中は勤務時間ではありませんので、給与が発生しないこと、公平に評価いただけることが条件となります。

Q 対面型スクーリングの出席日数を教えてください。

A 幼稚園教諭免許状・保育士資格を取得するために、2年間または3年間で合計20日間程度（実習除く）の対面型スクーリングに出席する必要があります。

Q 自宅にパソコンがなくても受講できますか？

A 科目修得試験はWeb上で実施いたします。また、スクーリングの一部をオンデマンド型（遠隔授業）にて実施いたします。その他インターネット環境が整っていることを前提に、各種ご案内しております。

Q 男性の出願はできますか？

A 男性も出願可能です。

Q スマートフォンから閲覧や試験の申し込みは可能ですか？

A 可能です。ただし、各コンテンツはパソコンでの使用を想定して作られています。

Q 免許・資格の取得のために、実習は必ず行かなければいけませんか？

A 幼稚園教諭免許取得のためには教育実習、保育士資格取得のためには保育実習がそれぞれ必要です。実習実施のためには、取得単位数など各種要件等がございます。  
※科目等履修生（特例・新特例）を除く。

Q 実習の期間はどのくらいですか？

A 教育実習は原則継続した20日間（幼稚園）、保育実習は2週間を3回（保育所で1回、施設で1回、保育所あるいは施設で1回）実施していただきます。

Q オンデマンド型のスクーリングは全体の何科目分開講しますか？

A 2024年度現在、スクーリング科目（30単位程度）のうち、11科目（12単位）をオンデマンド型にて実施しています。期間中いつでも、どこでも受講することができます。

Q 1年目で出席できなかったスクーリングがあった場合はどうすればいいですか？

A スクーリングのスケジュールを確認した上で、次年度に履修登録してください。複数の日程をご用意していますが、綿密に履修計画を立てることが必要になります。履修計画において不明な点などがあるときは、キャンパスアドバイザーまでご相談ください。





# 数字で見る“おだたん”

## 〈単位修得率〉 ※2024年度、一般生に限る。

84%

本学では教科書とオリジナルテキストである『学習の手引き』を活用した学習方法により、高い単位修得率となっております。

## 〈卒業率〉 ※2023年度入学生が2年間で卒業した割合

71%

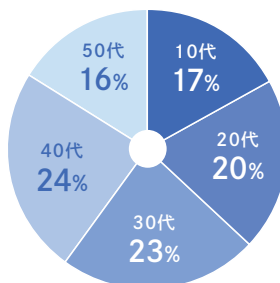
働きながら、家事をしながらなど様々なライフスタイルであっても安心して学習を進められることで、毎年高い卒業率を維持しています。

## 〈免許・資格取得率〉 ※2024年度 免許・資格取得希望者に限る。

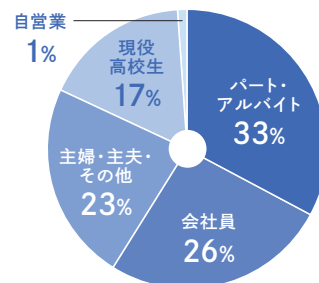
83%

一人ひとりへの充実したサポートやライフスタイルに合わせた学習ができる本学では、通信教育での学びであってもしっかりと目的を達成することができます。

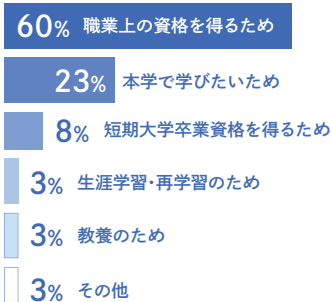
## 〈2024年入学者の年代〉



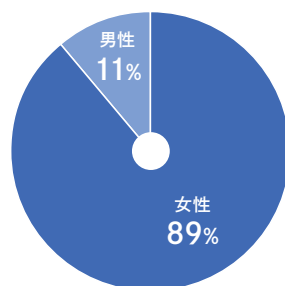
## 〈出願時の職業〉



## 〈本学を志望した理由〉



## 〈男女比〉



## 先生からのメッセージ

teacher message

### 心理学系科目担当

大浦 賢治 先生

通信教育は、自分一人で勉強するから「孤独」だとか、「なかなか続かない」といったイメージを持たれがちですが、工夫次第で変えられます。意志のあるところに可能性は開けます。皆さん、私と一緒に頑張りましょう。



### 実習系科目担当

山本 陽子 先生

保育者になるためには、こどもが「好き」という気持ちだけでなく、資格取得のための知識と技術が必要です。また様々な背景を持つこどもにも柔軟に対応できる力が求められます。たくさんの方の能力が必要であることを理解し励んでほしいです。



### 音楽表現系科目担当

澤田 優子 先生

こどもの日常生活は様々な音にあふれています。「きれいな音だな」「歌って楽しいな」といったこどもの何気ない音での表現を受容し、共に楽しみ、その表現を膨らませていけるよう豊かな感性を育てていきましょう。



### 造形表現系科目担当

石黒 美美代 先生

様々なものを「みること」、「つくること」を通して、みなさん自身で造形表現の面白さを実感することを大切にしてください。その上で、保育者・教育者として必要な知識や技術を学び、身につけていきましょう。



### 実習系科目担当

富金原 光秀 先生

小田原の広い海が一望できる校舎で、潮風と交わり、砂浜に遊び、山の草木に寄り添い親しむ…。そんな豊かな風土にぜひいらしてください。また保育実習・教育実習は幸せな時間や場面に遭遇する機会になると思いますよ！



### 身体表現系科目担当

水島 徳彦 先生

保育者に求められる様々な技術の底には、人と人の「かかわり」があります。こどもの生活では、言葉を介した関わりもさることながら、身体を介した関わりも大きな意味をもちます。身体を通した「かかわり」について、一緒に考えていきましょう。



### 身体表現系科目担当

佐藤 穂花 先生

スポーツは、する・みる・支えるといったように関わり方が多様化しています。生涯にわたって運動・スポーツを楽しむために必要な知識を正しく理解し、こどもたちの可能性を最大限に引き出す保育者を目指しましょう。





学長  
上野 奈初美

あなたの「学びたい」気持ちを  
応援します

小田原短期大学は、西湘地域における高等教育の振興を目指したいという地域社会の要望を受けて、1957年に開学いたしました。この長い歴史と実績に加えて、本学の通信教育課程は、保育者の育成を担う存在として、今、大きな期待が寄せられています。職業経験を持つ社会人だけではなく、高等学校卒業後すぐに入学する人も学修できるようカリキュラムは設計されています。『学習の手引き』に基づいたテキスト科目、スケジュールに合わせて受講できるスクーリング科目等、皆さんの希望に応えられるよう、多彩な教育プログラムを用意しています。時には学ぶ過程でいくつかの困難に直面することもあるかもしれません。そんな時、互いに励まし合いながら、共に学ぶ仲間との関わりは大きな支えとなるでしょう。また、通信教育課の教職員は、あなたの学びに寄り添い、「学びたい」気持ちに添えていきます。私たちは、社会に貢献しようと夢に向かって生きる皆さんを応援します。



学科長  
吉田 収

基礎から実践へとつながる  
教育プログラム

小田原短期大学保育学科通信教育課程は、保育現場で通用する力を育てることを目的とした学びが最も大切であると考えています。『学習の手引き』を用いたテキスト科目は、一人でも無理なく学習を進めていくことができます。また、実技・演習科目を中心としたスクーリング科目では、対面の授業を実施していますが、一部ではオンラインで受講が可能で、ライフスタイルに合わせていただけます。いずれも基礎から実践へと段階的に学びのステップを経た教育プログラムとなっています。保育に関する専門領域についての深い理解と高度なスキルを修得するためには、ときとして困難を感じることもあるでしょう。しかしながら、保育者をめざすといった志を同じくする仲間と、皆さんの自主的な学びをサポートする教職員が小田原短期大学にはいます。スクーリングで出会うさまざまな年代の仲間や教職員との触れ合いも、通信教育課程ならではの魅力のひとつといえるでしょう。本学の通信教育課程であなたの夢をぜひ実現させてください。自らの可能性を信じて努力する皆さんを全力で応援します。

## 建学の精神

女子を 人として教育する 女性として教育する 国民として教育する

## 教育理念

技能と心の調和

## 教育目標

- 自他ともに敬い愛する人として教育する
- 豊かな知識と感性溢れる人として教育する
- 健やかな家庭 社会を担う人として教育する



## 沿革

|               |                                                        |
|---------------|--------------------------------------------------------|
| 1957年         | 学校法人小田原女子学院設立                                          |
| 1957年         | 小田原女子学院短期大学家政学科設置                                      |
| 1960年         | 小田原女子学院短期大学を小田原女子短期大学に改称                               |
| 1969年         | 小田原女子短期大学付属保育専門学校設置 保育養成校として指定                         |
| 1971年         | 付属保育専門学校 幼稚園教諭養成機関として指定                                |
| 1972年         | 小田原女子短期大学幼児教育学科を設置                                     |
| 1978年         | 学校法人小田原女子学院を学校法人小田原女子短期大学に改称                           |
| 1979年         | 小田原女子短期大学付属保育専門学校を<br>小田原女子短期大学付属保育学院に改称               |
| 1987年         | 小田原女子短期大学付属保育学院を廃止                                     |
| 2005年         | 栄養教諭二種免許状授与の課程認定(家政学科)                                 |
| 2006年         | 小田原女子短期大学既設両学科の「入学定員及び名称変更」<br>食物栄養学科、保育学科             |
| 2007年         | 創立50周年                                                 |
| 2008年         | 短期大学基準協会による第三者評価にて適格認定                                 |
| 2011年         | 収益事業開始(小田原子育てセンター管理運用業者の指定)                            |
| 2014年         | 学校法人三幸学園と法人合併、<br>小田原女子短期大学を小田原短期大学に改称<br>保育学科通信教育課程開設 |
| 2015年         | 短期大学基準協会による第三者評価にて適格認定                                 |
| 2022年<br>(3月) | 短期大学基準協会による第三者評価にて適格認定                                 |

# 入学説明会 〈予約制〉

通信制での学びやシステムについてご案内します。入学希望の方を対象に、  
「興味はあるけど通信制大学のことがよく分からない」  
「通信教育の学習に不安がある」という方も、まずはお気軽にご参加ください。



## オンライン入学説明会

オンライン入学説明会  
のご予約はこちら



説明内容(例) ●通信制大学での学びについて ●取得可能な学位、免許、資格について ●スクーリングおよびテキストによる学習について ●学費について

### 正科生

2025年

|                     |                     |                   |                    |                   |                    |                      |                   |                    |                    |
|---------------------|---------------------|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|----------------------|-------------------|--------------------|--------------------|
| 4/29(火・祝)<br>10:00~ | 5/17(土)<br>10:00~   | 5/25(日)<br>10:00~ | 6/15(日)<br>10:00~  | 6/25(水)<br>14:00~ | 7/13(日)<br>10:00~  | 7/23(水)<br>14:00~    | 8/6(水)<br>14:00~  | 8/17(日)<br>10:00~  |                    |
| 9/6(土)<br>10:00~    | 9/15(月・祝)<br>10:00~ | 10/8(水)<br>14:00~ | 10/25(土)<br>10:00~ | 11/9(日)<br>10:00~ | 11/19(水)<br>14:00~ | 11/24(月・祝)<br>10:00~ | 12/3(水)<br>14:00~ | 12/17(水)<br>14:00~ | 12/21(日)<br>10:00~ |

2026年

|                  |                   |                   |                  |                   |                   |                  |                   |                     |
|------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|---------------------|
| 1/7(水)<br>14:00~ | 1/17(土)<br>10:00~ | 1/25(日)<br>10:00~ | 2/4(水)<br>14:00~ | 2/14(土)<br>10:00~ | 2/25(水)<br>14:00~ | 3/8(日)<br>10:00~ | 3/11(水)<br>14:00~ | 3/20(金・祝)<br>10:00~ |
|------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|---------------------|

### 科目等履修生(特例)

2025年

|                   |                   |                    |
|-------------------|-------------------|--------------------|
| 7/12(土)<br>10:00~ | 9/21(日)<br>10:00~ | 12/10(水)<br>14:00~ |
|-------------------|-------------------|--------------------|

2026年

|                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 2/11(水・祝)<br>14:00~ | 3/14(土)<br>10:00~ |
|---------------------|-------------------|



### 個別相談 [月曜日~金曜日/10:00~17:00] ●対面・オンラインどちらでも可能

「個別で話を聞いてみたい」「入学説明会と日程が合わない」という方は個別相談にお申し込みください。  
本学ホームページの専用フォームからお申し込みいただけます。5日前までにご予約ください。  
※予約制 ※対面での個別相談は小田原本校のみとなります。

個別相談の  
ご予約はこちら



### 交通アクセス

#### 小田原キャンパス(本校)

〒250-0045 神奈川県小田原市城山4-5-1  
●「小田原駅」から徒歩15分

#### 千歳スクール

〒066-0042 北海道千歳市東雲町3丁目2-6(千歳商工会議所内)  
●JR「千歳駅」から徒歩12分

#### 登米スクール

〒987-0331 宮城県登米市米山町中津山字筒場塚215  
●JR「瀬峰駅」または「田尻駅」から車で18分

#### 横浜関内スクール

〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町4-9-10-8F  
●横浜市営地下鉄ブルーライン「伊勢佐木長者町駅」から徒歩1分

#### 大阪スクール

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-7-23  
●JR「新大阪駅」正面口から徒歩5分

#### 延岡スクール

〒882-0054 宮崎県延岡市栄町2番地9  
●JR「延岡駅」西口から徒歩5分

#### 名護スクール

〒905-0011 沖縄県名護市宮里5-13-7(名護市立大宮幼稚園内)  
●22名護うるま線「宮里一丁目」から徒歩5分

#### 宮古島スクール

〒906-0007 沖縄県宮古島市平良東仲宗根807(宮古島市未来創造センター内)  
●「宮古空港」から車で8分



小田原短期大学  
Odawara Junior College

〒250-0045 神奈川県小田原市城山4-5-1  
TEL:0465-23-6505(直通)/FAX:0465-23-4090  
Mail:tsushin@odawara.ac.jp

おだたん通信



<https://tsushin.odawara.ac.jp/>





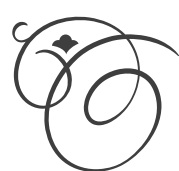
小田原短期大学

保育学科 通信教育課程（男女共学）

# 募集要項2026

.....

- ・正科生
- ・科目等履修生（特例）
- ・科目等履修生（一般）



小田原短期大学

*Odawara Junior College*

# 小田原短期大学 保育学科 通信教育課程

## 【教育理念】

技能と心の調和

## 【教育目標】

- 1 自他ともに敬い愛する人として教育する
- 2 豊かな知性と感性溢れる人として教育する
- 3 健やかな家庭 社会を担う人として教育する

## 【アドミッションポリシー(入学者受け入れの方針)】

### ◆保育学科 通信教育課程

本課程は、建学の精神に基礎を置き、教育理念・教育目標に定める人材を育成する目的にそって、入学者を適正に選抜するための選抜方法を実施します。本課程に入学する人として、保育の専門的な学びを身につけて社会で活躍できる知識・技能を身につけようとする目的意識や意欲的に学ぼうとする姿勢を持ち、保育分野の知識と課題解決力を身につけるための基礎的学力を有する人を期待します。

- 1 高等学校（またはこれに準ずる学校）の教育課程を修得している。
- 2 高等学校（またはこれに準ずる学校）の修得科目のうち、「国語（現代文）」を通じて、読む・書く・自らの意見や考えを伝えるという基礎的な能力を身につけている。
- 3 様々な問題について、自らの知識や情報をもとにして、わかりやすく人に説明することができる。
- 4 子どもの発達やかかわり方に興味関心があり、基礎的な学力と思考力・行動力を有している。
- 5 子どもや保護者などの支援をするために幼稚園教諭になろうという意欲がある。
- 6 入学前に求められる、基礎的な知識、学ぶ姿勢を身につけている。

※本学 通信教育課程のホームページ参照



## 保育学科 通信教育課程

〒250-0045 神奈川県小田原市城山4-5-1

TEL 0465-23-6505（通信直通）

MAIL [tsushin@odawara.ac.jp](mailto:tsushin@odawara.ac.jp)

URL <https://tsushin.odawara.ac.jp/>

# 目 次

教育理念  
教育目標  
アドミッションポリシー

|                   |   |
|-------------------|---|
| ●通信教育課程 概要 .....  | 2 |
| ●出願から学習開始まで ..... | 4 |
| ＜インターネット出願に関して＞   |   |

## 正科生

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ●正科生 概要 .....           | 6  |
| ●募集について .....           | 6  |
| ●既修得単位・資格等による単位認定 ..... | 10 |
| ●学費（募集コース別学費） .....     | 11 |
| ●学則科目一覧 .....           | 12 |
| ●科目の概要 .....            | 13 |
| ●教員免許・資格読替表 .....       | 17 |
| 幼稚園教諭二種免許状              |    |
| 保育士資格                   |    |
| 社会福祉主事任用資格              |    |
| ●各種実習について .....         | 20 |
| ●Q & A よくある質問 .....     | 22 |
| ●学費のサポート .....          | 24 |
| ●出願書類確認表 .....          | 25 |

## 科目等履修生（特例）

|                     |    |
|---------------------|----|
| ●科目等履修生（特例）概要 ..... | 26 |
| ●募集について .....       | 28 |
| ●開講科目一覧 .....       | 31 |
| ●Q & A よくある質問 ..... | 32 |
| ●出願書類確認表 .....      | 33 |
| ●履修登録確認表 .....      | 33 |

## 科目等履修生（一般）

|                     |    |
|---------------------|----|
| ●科目等履修生（一般）概要 ..... | 35 |
| ●募集について .....       | 35 |
| ●開講科目について .....     | 37 |
| ●Q & A よくある質問 ..... | 38 |
| ●出願書類確認表 .....      | 39 |
| ●履修登録確認表 .....      | 39 |

|               |    |
|---------------|----|
| アクセスマップ ..... | 40 |
|---------------|----|

正  
科  
生

科  
目  
等  
履  
修  
生  
（  
特  
例  
）

科  
目  
等  
履  
修  
生  
（  
一  
般  
）



# 通信教育課程 概要

## 募集学籍

### ◆正科生

大学入学資格を有し、正規の短期大学課程の卒業を目指す方を指します。卒業に必要な科目の履修に加え、免許取得に必要な科目を履修することで、卒業とあわせて幼稚園教諭二種免許状の取得を目指すことができます。

### ◆専攻科生

正科生の課程を修了した学生が保育士資格の取得に必要な科目を履修することができます。修了とあわせて保育士資格の取得を目指すことができます。

### ◆科目等履修生（特例）

基礎資格のある方が、幼稚園教諭二種免許状または、保育士資格を取得するために必要な科目だけを履修することを目的とした制度です。

### ◆科目等履修生（一般）

本学開講科目に興味のある方が、幼児教育・保育分野への理解を深める目的で学習をすることができます。

## ★必ずお読みください

### ◆パソコン環境について [必須]

本学の通信教育課程では、学習を進めるにあたりパソコンとインターネット通信を利用します。（必須）

対面スクーリングの申し込み、Web科目修得試験の申し込み・受験等は、各自パソコンでできることを前提としています。また学習を進める上でメールのやり取りが発生します（携帯メール不可）

#### 《必要とするパソコンのスキル》

- インターネットへの接続ができる
  - emailで添付ファイルの送受信ができる
  - プリントアウトができる
  - Microsoft Wordを利用して日本語入力ができる
  - 動画が再生できる
  - Web上のファイルをダウンロード・アップロードができる
  - Microsoft Excelを利用して簡単な関数による表計算ができる
  - PDFファイルが閲覧できる
- レポートや論文などの文書の作成ができる

#### 《推奨するパソコン環境》 ※更新の可能性あり

|                    |                                                                     |            |                                                |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------|------------|------------------------------------------------|
| ①推奨 OS             | Windows 最新バージョン<br>MacOSX 最新バージョン<br>Android 最新バージョン<br>iOS 最新バージョン | ⑤メモリ       | 4GB 以上（8GB以上を推奨）                               |
| ②対応ブラウザ            | Chrome 最新バージョン〈推奨〉<br>Safari 最新バージョン                                | ⑥PDFソフトウェア | Adobe Reader 最新版〈推奨〉                           |
| ③推奨 CPU            | Intel Coreシリーズ<br>AMD Ryzenシリーズ、Mac                                 | ⑦通信回線      | 実効速度700kbps以上（1MBbps以上の回線を推奨）                  |
| ④ Microsoft Office | ※入学後に利用できるIDをお知らせします                                                | ⑧その他       | プリンタ<br>アンチウイルスソフト(Windows Defender ※無償)<br>など |

※セキュリティについては、自己責任・自己管理をお願いしています。

※ CoLS の推奨ブラウザは Chrome です。

Webカメラ（92万画素（解像度1280×720ピクセル）以上）も必要です。科目修得試験で本人認証に利用されます。

## 学習方法

### ◆テキスト科目

※中間試験（到達度確認試験）・科目修得試験はWeb試験になります。

教科書や学習の手引き等を使用した自宅学習の上、中間試験（到達度確認試験）・科目修得試験を受験し、合格することで単位修得となります。来校が不要で、自宅等で学習できるため、個人のライフスタイルにあわせて学ぶことができます。また、質問や相談等がしやすいサポート体制を用意しています。

### ◆スクーリング科目

スクーリング会場で実施する対面型スクーリングと、Web上で実施するオンデマンド型スクーリングがあります。両授業とも1科目、年2回（スクーリング会場によっては1回）開催されます。

対面型スクーリングは2年間あるいは3年間で合計約20日程度の出席が必要で、受講状況、課題や試験等で評価されます。オンデマンド型スクーリングは、Web上で動画を視聴し、確認テスト・最終課題で評価されます。各授業とも、合格することで単位修得となります。

※科目等履修生（特例）コースのスクーリングはオンデマンド型スクーリングのみです。

## サポート体制

### ◆質疑応答・コミュニケーション

本学では学習支援システム『CoLS』（コルズ）の活用により、学習のサポートを行っています。

#### CoLSとは・・・

自宅のパソコン等からアクセスすることで、通信学習の補助、学校からのお知らせの閲覧、各種手続き等ができるシステムです。高度なパソコンスキルがなくても簡単に操作ができます。

#### CoLSでできること

- ・お知らせ確認
- ・履修登録
- ・遠隔授業の受講
- ・Web科目修得試験、スクーリング等の申し込み
- ・成績確認
- ・副教材ダウンロード
- ・Web科目修得試験の受験

### ◆オフィスアワー

学生が安心して学習を進められるように、担当教員へ質問ができる、『オフィスアワー』を設けています。学習中で分からないところを気軽に相談することが可能です。

### ◆キャンパスアドバイザー制度

教育・研究指導とは別に、学生生活全般のサポートはキャンパスアドバイザーが行います。学習の進め方や事務的なことで分からないことがあった時に相談できる本学独自のサポート制度です。

## 個人情報取り扱いについて

### ◆資料請求

本学では資料請求・入学説明会等にあたってお知らせいただいた住所・氏名・その他の個人情報は、安全管理のため必要な処置を講じております。お知らせいただいた情報につきましては、資料送付、本学通信教育課程が実施する入学説明会の案内等、入学希望者への情報提供を目的として使用いたします。

### ◆入学後

出願に際し提出いただいた住所・氏名・その他の個人情報は、安全管理のため必要な処置を講じております。これらの情報は「入学選考」「教材等の送付」「教育・学習支援および大学行事」「同窓会に関する書類送付」とこれらに付随する事項での使用を目的としていますので、あらかじめご了承ください。

# 出願から学習開始まで

通信教育課程ホームページからご出願ください。  
URL: <https://tsushin.odawara.ac.jp/>

出願前

1. 出願書類の準備～出願

【必要書類】

| 正科生                             | 科目等履修生(特例)                   | 科目等履修生(一般)                        |
|---------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|
| ・入学志願書① ★1                      | ・登録志願書 ★1                    |                                   |
| ・入学志願書② ★2                      | ・誓約書・保証書・同意書 ★2              |                                   |
| ・誓約書・保証書・同意書 ★2                 |                              |                                   |
| ・健康診断書 ★2<br>(出願前6ヶ月以内に発行されたもの) | ・登録資格を証明する書類<br>(取得見込証明書は不可) | ・登録資格を証明する書類<br>(卒業証明書・成績証明書等)    |
| ・入学資格を証明する書類<br>(卒業証明書・成績証明書等)  |                              | ※「科目選択」を希望の方は、別途<br>「履修申請書」が必要です。 |

★1 インターネット出願登録後、入学検定料または登録料を納入し、各種「志願書」をダウンロードの上、提出してください。

★2 通信教育課程ホームページの募集要項ページから印刷してください。

出願後

2. 入学審査

2. 登録審査

書類選考を行います。

3. 通知の受取

書類選考を通過された方には、合格通知書または登録許可書を送付します。  
あわせて学費納付に関する書類と振込票を送付します。期間内に指定の方法で納入いただくことで手続完了となります。

4. 必要書類の受取

学習を開始するために必要な書類を送付します。

学習準備～開始

5. 履修登録、教材購入手続き～受取

5. 教材受取

5. 履修登録、教材購入手続き～受取

Web 上にて履修申請をします。  
教材はインターネットの専用サイトにてご自身で購入します。

教材を送付します。

教材はインターネットの専用サイトにてご自身で購入します。

6. 学習開始

●住所変更をする場合は、必ず通信教育課までご連絡ください。

## 【インターネット出願に関して】

### インターネット出願の流れ





## <納入方法>

①コンビニエンスストア

②クレジットカード

③Pay-easy(ペイジー)・ATM

④Pay-easy(ペイジー)・ネットバンキング

<利用可能なクレジットカード会社>



## <注意事項>

- ・出願書類の提出漏れがある場合は受付できません。
- ・一度納入した入学検定料または登録料は返還しません。
- ・インターネット出願サイトでの出願登録をただけでは正式な出願となりません。

## インターネット出願前の準備

### ①必要なインターネットの環境

|                  |                                                                                |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| パソコン             | Windows : GoogleChrome(最新バージョン)<br>Firefox(最新バージョン)<br>Microsoft Edge(最新バージョン) |
|                  | MacOS : Safari(最新バージョン)                                                        |
| スマートフォン<br>タブレット | Android : 13.0 以上(Android Chrome 最新バージョン)<br>iOS : 16.0 以上(Safari 最新バージョン)     |

### ②プリンタ

#### ■印刷機器

必要書類等のデータを印刷するために、印刷できる機器（プリンタ）が必要となります。  
自宅にプリンタが無い場合は、データを印刷できる環境を確認しておいてください。

#### ■コンビニでの印刷

印刷費用はご自身の負担になります。

#### (1) メディアリーダー装置のコピー機がある一部のコンビニエンスストア

各種メディアに作成・ダウンロードした出願書類などの PDF ファイルを入れて持参し店頭で印刷することができます。  
(詳細は各店舗・サービス会社にお問い合わせください)

#### (2) コンビニエンスストアのネットプリントサービス

インターネット経由でファイルをアップロードし、コンビニエンスストア店頭のコピー機で印刷するサービスを利用することができます。

※利用登録が必要な有料サービスです。詳細は「コンビニ プrint」などで検索してください。

### ③電子メールアドレス

#### ※メールアドレスについて

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール (Gmail やYahoo! メールなど) や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン (@odawara.ac.jp、@postanet.jp) を受信指定してください。  
出願登録完了時・入学検定料あるいは登録料の納入完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

### ④封筒：市販の角2封筒（A4サイズ of 書類が入る封筒）

出願書類一式 (P.8「出願に必要な書類」参照) を同封し、封筒表紙に※「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて、本学まで郵送してください。

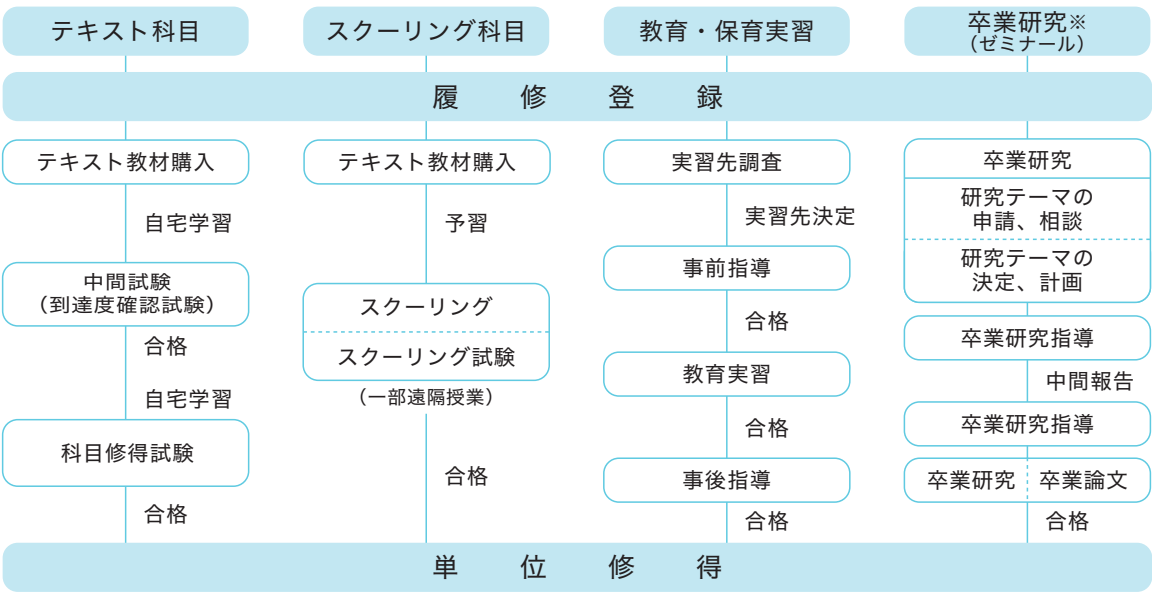
※出願サイトからダウンロードしてください。

# 正科生 概要

◆正科生

大学入学資格を有し、正規の短期大学課程の卒業を目指す方を指します。卒業に必要な科目の単位修得に加え、免許取得に必要な科目の単位を修得することで、卒業（短期大学士）とあわせて幼稚園教諭二種免許状を取得することができます。

## 学習の流れ



※卒業研究（ゼミナール）は選択科目です。

# 募集について

## 1. 募集人数・取得を目指す免許状・資格

| 学科             | コース      | 修業年限         | 入学定員   | 取得が目指せる主な免許状・資格     |
|----------------|----------|--------------|--------|---------------------|
| 保育学科<br>通信教育課程 | こども教育コース | 2年課程         | 2,200名 | 幼稚園教諭二種免許状          |
|                | こども保育コース | 2年課程＋専攻科(1年) |        | 幼稚園教諭二種免許状<br>保育士資格 |

- ・修業年限を超えても卒業要件を充足していない場合は、所定の学費を納入することにより引き続き最大4年まで在学することができます。
- ・こども保育コースは500名を上限とします。

## 2. 入学資格

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者（2026年3月卒業見込も可）
- (2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者（2026年3月卒業見込・修了見込も可）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者）
- (4) 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者）
- (5) 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の高等学校相当として指定された外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程を修了した者）
- (7) 高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者（2026年3月修了見込も可）
- (8) 指定された専修学校の高等課程を修了した者（2026年3月修了見込も可）
- (9) 旧制学校等を修了した者
- (10) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格を保有する者
- (11) 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者
- (12) 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者

・在学期間中、日本に在住していることも入学条件となります。

※以下は入学資格ではありませんが、入学後必要とされるスキルです（選考には関係ありません）

### 《必要とするパソコンスキル》

- インターネットへの接続ができる
- emailで添付ファイルの送受信ができる
- プリントアウトができる
- Microsoft Wordを利用して日本語入力ができ、レポートや論文などの文書の作成ができる
- 動画が再生できる
- Web上のファイルをダウンロード・アップロードできる
- Microsoft Excelを利用して簡単な関数による表計算ができる
- PDFファイルが閲覧できる

## 3. 入学審査

書類選考にて審査します。学力試験等はありません。

## 4. 出願日程

出願日程：2025年10月1日～2026年3月31日

（出願書類の提出は、2026年3月31日消印有効）

書類提出時期により、合格発表日、学費振込期限が異なります。

| 出願時期        | 合格発表日（可否通知発送日） | 学費振込期限        |
|-------------|----------------|---------------|
| 10月出願者      | 2025年11月17日（月） | 2025年12月3日（水） |
| 11月出願者      | 2025年12月17日（水） | 2026年1月7日（水）  |
| 12月出願者      | 2026年1月15日（木）  | 2026年2月4日（水）  |
| 1月出願者       | 2026年2月18日（水）  | 2026年3月4日（水）  |
| 2月出願者       | 2026年3月18日（水）  | 2026年3月31日（火） |
| 3月15日までの出願者 | 2026年3月31日（火）  | 2026年4月10日（金） |
| 3月31日までの出願者 | 2026年4月10日（金）  | 2026年4月15日（水） |

出願期間中であっても定員を満たした場合は、それ以降の募集は実施いたしません。定員を満たした場合はホームページ上に開示いたします。

## 5. 出願に必要な書類

| ご提出いただく書類         | 留意事項                                       |                               | 備考                                    |
|-------------------|--------------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|
| 1 入学志願書①          | 指定箇所に写真を貼り付けてください。<br>(カラー、3ヶ月以内に撮影した証明写真) |                               | インターネット出願サイト「Post@net」よりダウンロードしてください。 |
| 2 入学志願書②          | 3つの項目について、あなたの考えを記述してください。(手書き)            |                               | 本学ホームページよりダウンロードしてください。               |
| 3 誓約書・保証書・同意書     | 署名、押印の上提出してください。                           |                               | 本学ホームページよりダウンロードしてください。               |
| 4 健康診断書           | 出願前6ヶ月以内に発行されたものを提出してください。                 |                               | 本学ホームページよりダウンロードしてください。(病院のフォーマットでも可) |
| 5 入学資格を証明する書類     | 最終学校の卒業(見込)証明書                             |                               | 出身校に発行を依頼してください。                      |
| <その他<br>(入学関係書類)> | 高等学校卒業程度<br>認定試験合格者                        | 高等学校卒業程度<br>認定試験合格証           | 該当するものをご準備ください。                       |
|                   | 外国の学校を<br>卒業された方<br>(いずれかの<br>書類を提出) ※1    | 最終学校の卒業(見込)証明書                |                                       |
|                   |                                            | 調査書(最終卒業学校作成、<br>厳封のこと)       |                                       |
|                   |                                            | 国際バカロレア資格証書 等                 |                                       |
|                   | 外国籍の方                                      | 特別永住者証明書<br>または在留カードの写し       |                                       |
|                   |                                            | 日本語能力試験認定結果及び<br>成績に関する証明書 ※2 |                                       |

- ・証明書類はすべて出願前6ヶ月以内のものを提出してください。いずれもコピー不可とします。
- ・卒業見込の場合は、卒業証明書の代わりに「卒業見込証明書」を提出してください。  
また、入学式当日までに卒業証明書を提出してください。  
期日までに提出がない場合は、入学許可を取り消します。

※1 外国語の証明書を提出する場合は、証明書の日本語訳を添付してください。

※2 該当の方のみ

## 6. 出願にあたっての注意

### 《出願書類提出後の取り扱いについて》

1. 出願書類受理後、随時書類選考を行い、合格した方には「合格通知書」を送付します。
2. 一度受理された書類の返還および記載内容の変更、ならびに納入された入学検定料の返還は致しません。
3. 入学資格および出願書類に誤りや虚偽等があった場合には、合格・入学を取り消す場合があります。

### 《日本国籍以外の方の出願について》

在留資格が留学ビザの方は、通信教育課程では出願できません。入学を希望する場合には、「留学ビザ」・「就学ビザ」以外で相当の年数、日本に在住できる適切な在留資格を有する必要があります。国内在住の外国人の入学に関する質問は通信教育課までご連絡ください。なお、本学では日本語の教材を用いた学習、日本語によるスクーリング授業の開講となります。日本語能力検定1級程度の語学力を望ましい基準としています。

### 《海外の高等学校や短期大学・大学を卒業し、入学を希望する方について》

出願資格の確認をいたしますので、出願する前に予め本学にご連絡ください。また、出願の際は、日本語訳の添えられた卒業証明書・成績証明書の提出が必要となります。

### 二重学籍の禁止

下記に該当する方は、正科生として入学することはできません。

- ・学校教育法第1条に定める高等専門学校、短期大学(専攻科を含む)、大学、大学院に在籍している方
- ・文部科学大臣の指定する教員養成機関等に在籍している方
- ※本学の場合、他校の科目等履修生は二重学籍の対象にはなりません。



## 7. 入学検定料

入学検定料の納入後に、出願サイト「Post@net」から入学志願書①をダウンロードできます。  
一度納入した入学検定料は、いかなる事情があっても返還いたしません。

入学検定料 10,000 円

«納入方法»

通信教育課程ホームページ内『インターネット出願ガイド』に各種納入方法を記載しております。  
(通信URL <https://tsushin.odawara.ac.jp/>)

## 8. 入学後のスケジュール

«入学式・ガイダンス（予定）»

小田原 : 2026年4月11日（土）  
登米、延岡 : 2026年4月18日（土）  
大阪 : 2026年4月19日（日）  
千歳、名護 : 2026年4月25日（土）  
宮古島 : 2026年4月26日（日）

履修登録期間：ガイダンス後～2026年5月11日（月）  
履修登録後、学習開始になります。

# 既修得単位・資格等による単位認定

入学前に他短期大学・他大学で修得した単位・取得した資格等について、審査を経て、教育上有益であると認められた場合に限り、入学後に本学で修得した単位として認定することが可能です。

認定された科目は、本学において履修（授業の聴講・出席含む）することはできません。

## 「既修得単位による単位認定」

個々の科目について、申請に基づき単位認定の可否を判断します。

| 対象の方                    | 申請期間  | 認定単位   | 必要書類                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------|-------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 他短期大学・他大学等で既に単位を修得している方 | 出願期間内 | 最大30単位 | ①既修得単位・資格等による単位認定希望申請書<br>②出願前6ヶ月以内に発行された成績証明書（評価入り）<br>③履修当時の当該大学における履修科目のシラバス（写し）<br>④「日本国憲法」、「情報処理論」、「英語」、「健康スポーツ理論」、「健康スポーツ実技」（幼稚園教諭2種免許状に関する科目）について一括で申請する場合は、「学力に関する証明書（教育職員免許法施行規則第66条6に定める科目）」及び「教員免許状（種別は問わず）」（写し） |

※単位修得年度と異なるシラバスの場合、審査ができません。

※学力に関する証明書は、出身大学に発行依頼してください。

※原則として、専門科目に関しては、指定保育士養成施設で修得した科目以外は単位認定できません。

## 「資格による単位認定」

申請に基づき、単位認定の可否を判断いたします。対象資格は以下のいずれか1つです。

| 申請期間  | 対象資格※取得時期問わず                                                            | 本学認定科目          | 必要書類                                |
|-------|-------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------------------------------------|
| 出願期間内 | ・英検準2級<br>・TOEIC400<br>・TOEFL(旧式)420<br>・TOEFL(iBT)38<br>・TOEFL(CBT)120 | ・英語<br>(2単位)    | ①既修得単位・資格等による単位認定希望申請書<br>②資格証明書の写し |
|       | ・応用情報技術者試験(AP)<br>※ i<br>・基本情報技術者試験(FE)<br>※ ii                         | ・情報処理論<br>(2単位) |                                     |

※ i ・ ii 情報処理の促進に関する法律第29条第1項に基づき、経済産業大臣が認定する国家試験「情報処理技術者試験」の12ある区分の一つです。情報処理技術者試験制度の1から4で設定されているスキルレベルのうち、応用情報技術者試験はスキルレベル3、基本情報技術者試験はスキルレベル2に相当しています。

■既修得単位・資格等による単位認定希望申請書は、通信教育課程ホームページよりダウンロード、印刷して記入してください。

■単位認定の結果は、2026年5月に通知します。認定科目については、履修変更が可能です。

# 学費（募集コース別学費）

合格後に納入していただく学費は以下の通りです。

## 《学費の納入方法》

合格後の入学書類とあわせて、指定銀行の振込用紙を送りますので、期日までに納入してください。  
なお、学費は年額を2回に分けての納入（前期・後期）となります。

### ①こども教育コース

（修業年数：2年、幼稚園教諭二種免許状）

《学費内訳》 単位（円）

|       | 1年次     | 2年次     |
|-------|---------|---------|
| 入学金   | 20,000  | 0       |
| 授業料   | 270,000 | 270,000 |
| 学習管理料 | 5,000   | 5,000   |
| 小計    | 295,000 | 275,000 |

《諸経費内訳》

|        | 1年次 | 2年次   |
|--------|-----|-------|
| 学生証発行料 | 500 | 0     |
| 同窓会    | 0   | 5,000 |
| 卒業記念品費 | 0   | 3,000 |
| 小計     | 500 | 8,000 |

《総合計》

|    | 1年次     | 2年次     |
|----|---------|---------|
| 前期 | 158,000 | 137,500 |
| 後期 | 137,500 | 145,500 |
| 合計 | 295,500 | 283,000 |

### ②こども保育コース

（修業年数：3年、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格）

単位（円）

|       | 1年次     | 2年次     | 専攻科    |
|-------|---------|---------|--------|
| 入学金   | 20,000  | 0       | 0      |
| 授業料   | 270,000 | 270,000 | 30,000 |
| 学習管理料 | 5,000   | 5,000   | 5,000  |
| 小計    | 295,000 | 275,000 | 35,000 |

|        | 1年次 | 2年次   | 専攻科 |
|--------|-----|-------|-----|
| 学生証発行料 | 500 | 0     | 0   |
| 同窓会    | 0   | 5,000 | 0   |
| 卒業記念品費 | 0   | 3,000 | 0   |
| 小計     | 500 | 8,000 | 0   |

|    | 1年次     | 2年次     | 専攻科            |
|----|---------|---------|----------------|
| 前期 | 158,000 | 137,500 | (年間)<br>35,000 |
| 後期 | 137,500 | 145,500 |                |
| 合計 | 295,500 | 283,000 | 35,000         |

※授業料には、web科目修得試験の受験料、スクーリング受講料、団体保険料、付帯賠償責任保険料が含まれています。  
※その他、証明書発行等の諸経費については都度の徴収となります。

## 《別途かかる費用》

### ①実習費（教育実習・保育実習）

実習に参加する場合には、実習科目1単位ごとに実習費がかかります。

実習費 10,000円／1単位ごと

### ②テキスト代

履修する科目により異なりますが、年間50,000円程度となります。  
また、実習に使用する「実習の手引き」や「実習日誌」は1冊あたり1,000円程度を予定しています。

### ③免許・資格申請料

幼稚園教諭二種免許状・保育士資格を取得する為の申請料がかかります。  
いずれも手数料含め5,000円前後となります。

## 《在学延長について》

最短修業年限で卒業に必要な単位が修得できなかった場合、在学延長することができます。

### ◆正科生（最長在学期間 4年）

授業料：80,000円/年間、学習管理料：5,000円/年間となります。

### ◆専攻科（最長在籍期間 2年）

授業料：30,000円/年間、学習管理料：5,000円/年間となります。

## 《注意事項》

- 学費は入学検定料とは異なり、指定銀行の振込用紙を使用した納入となります。
- 一度提出した入学手続書類や学費等は、原則として返還できません。ただし、3月31日正午までに入学取消に関する書類（本学所定用紙）を提出・受理された場合、入学金を除く学費のみを返還することができます。

# 学則科目一覧

## 《卒業要件》

所定の必修単位 12 単位及び、選択科目 50 単位以上を修得し、合計 62 単位以上を修得すること。

このうち、15 単位以上は、スクーリング科目履修であること。

※授業形態が「対面」、「オンデマンド」の科目はスクーリング科目です。

※履修登録の上限（一年次）：42 単位 / 年間

※教養科目から 10 単位以上（必修含む）/ 専門科目から 46 単位以上（必修含む）を取得すること。

### 教養科目

| 科目名         | 授業形態 | 単位数 |    |
|-------------|------|-----|----|
|             |      | 必修  | 選択 |
| 文学〈未開講〉     | テキスト |     | 2  |
| 心理学         | テキスト |     | 2  |
| 経済学         | テキスト |     | 2  |
| 日本国憲法       | テキスト |     | 2  |
| 生物学〈未開講〉    | テキスト |     | 2  |
| 基礎学力演習Ⅰ     | テキスト |     | 2  |
| おだたん人間成長講座Ⅰ | テキスト | 2   |    |
| 職業と社会Ⅰ      | テキスト |     | 1  |
| 職業と社会Ⅱ      | テキスト |     | 1  |
| 《外国語》       |      |     |    |
| 英語          | テキスト | 2   |    |
| 英会話〈未開講〉    | 対面   |     | 1  |
| 《体育》        |      |     |    |
| 健康・スポーツ理論   | テキスト | 1   |    |
| 健康・スポーツ実技   | 対面   | 1   |    |

### 専門科目

| 科目名            | 授業形態   | 単位数 |    |
|----------------|--------|-----|----|
|                |        | 必修  | 選択 |
| 健康             | テキスト   |     | 1  |
| 人間関係           | テキスト   |     | 1  |
| 環境             | テキスト   |     | 1  |
| 言葉             | テキスト   |     | 1  |
| 表現〈造形〉         | テキスト   |     | 1  |
| 表現〈音楽〉         | テキスト   |     | 1  |
| 保育者論           | テキスト   | 2   |    |
| 教育原理           | テキスト   | 1   |    |
| 教育制度論          | テキスト   | 1   |    |
| 教育社会学〈未開講〉     | テキスト   |     | 1  |
| 保育の心理学Ⅰ        | テキスト   | 2   |    |
| 保育カリキュラム論      | テキスト   |     | 2  |
| 保育内容総論Ⅰ        | オンデマンド |     | 1  |
| 環境指導法          | オンデマンド |     | 1  |
| 健康指導法          | テキスト   |     | 2  |
| 表現指導法          | テキスト   |     | 2  |
| 言葉指導法          | オンデマンド |     | 1  |
| 人間関係指導法        | テキスト   |     | 2  |
| 教育の方法と技術       | テキスト   |     | 2  |
| 幼児理解の理論と方法     | オンデマンド |     | 1  |
| 教育相談           | テキスト   |     | 1  |
| 保育・教職実践演習〈幼稚園〉 | 対面     |     | 2  |
| 教育実習指導         | 対面     |     | 1  |
| 教育実習           | 対面     |     | 4  |
| 乳児保育Ⅰ          | テキスト   |     | 2  |
| 乳児保育Ⅱ          | オンデマンド |     | 1  |
| 特別支援教育・保育概論    | テキスト   |     | 1  |
| 障害児保育          | オンデマンド |     | 1  |
| 子育て支援          | オンデマンド |     | 1  |

### 専門科目

| 科目名          | 授業形態   | 単位数 |    |
|--------------|--------|-----|----|
|              |        | 必修  | 選択 |
| 子どもの食と栄養Ⅰ    | テキスト   |     | 1  |
| 子どもの食と栄養Ⅱ    | オンデマンド |     | 1  |
| 子どもの保健       | テキスト   |     | 2  |
| 子ども家庭支援の心理学  | テキスト   |     | 2  |
| 子どもの健康と安全    | オンデマンド |     | 1  |
| 保育原理         | テキスト   |     | 2  |
| 社会的養護Ⅰ       | テキスト   |     | 2  |
| 社会的養護Ⅱ       | オンデマンド |     | 1  |
| 社会福祉         | テキスト   |     | 2  |
| 子ども家庭福祉      | テキスト   |     | 2  |
| 子ども家庭支援論     | テキスト   |     | 2  |
| 情報処理論        | オンデマンド |     | 2  |
| 卒業研究(ゼミナール)  | 対面     |     | 1  |
| 音楽表現Ⅰ        | 対面     |     | 1  |
| 音楽表現Ⅱ        | 対面     |     | 1  |
| 造形表現Ⅰ        | 対面     |     | 1  |
| 造形表現Ⅱ        | 対面     |     | 1  |
| 身体表現Ⅰ        | 対面     |     | 1  |
| 身体表現Ⅱ        | 対面     |     | 1  |
| 言語表現         | 対面     |     | 1  |
| 音楽表現指導法〈未開講〉 | 対面     |     | 1  |
| 造形表現指導法〈未開講〉 | 対面     |     | 1  |
| 身体表現指導法〈未開講〉 | 対面     |     | 1  |

### 専攻科 科目

| 科目名        | 授業形態 | 単位数 |    |
|------------|------|-----|----|
|            |      | 必修  | 選択 |
| 児童文学       | テキスト |     | 2  |
| 児童文化       | テキスト |     | 2  |
| ボランティア活動   | テキスト |     | 2  |
| 保育実習指導Ⅰ    | 対面   |     | 2  |
| 保育実習Ⅰ〈保育所〉 | 対面   |     | 2  |
| 保育実習Ⅰ〈施設〉  | 対面   |     | 2  |
| 保育実習Ⅱ      | 対面   |     | 2  |
| 保育実習指導Ⅱ    | 対面   |     | 1  |
| 保育実習Ⅲ      | 対面   |     | 2  |
| 保育実習指導Ⅲ    | 対面   |     | 1  |



# 科目の概要

## ◆教養科目◆

| 科目名         | 授業科目の概要                                                                                                                                               |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 文学          | 近現代の日本文学作品を読み深めながら、文学史や作家についての知識を得るとともに、社会人として必要な読解力と文学的感性を養う。毎回、作品を通読した後、作品の内容を段落ごと、あるいは章ごとに分け、スモールステップで分析・検討し、最後に全体を貫くテーマについて考察する。                  |
| 心理学         | 人間をより深く理解するために必要な専門的方法や理論を学び、自分自身を含めた人間に対して興味・関心を広げることが目的とし、学んだ知識や方法を実際に日常生活に応用し、その結果充実した人生を送れるようになることを目標とする。                                         |
| 経済学         | この教科目では、生活を「経済学」の視点から捉え、生活に必要な経済の基礎について、可能な限り簡単に解説していき、経済ニュースを身近に感じられるように、経済を見る眼を養い、経済ニュースについて、問題発見能力、問題処理能力、事務処理能力を習得する。                             |
| 日本国憲法       | 日本国憲法の掲げて立つ理念・基本原理、基本的人権の内容について、学ぶ。特に、基本原理相互の関係性や、一つ一つの基本的人権が個人の尊厳性に基づくものであること、各人権が誕生した歴史的背景について、詳しく学ぶとともに、統治機構については、権力分立を中心に学んでいく。                   |
| 生物学         | 人間は生物の一員としてこの地球で生活をしている。本授業では、生物の生きるしくみから、地球全体の生物や環境のつながりまでを幅広く学び、生命や環境について考える。特に、身近にみられる生物を観察することに重点を置き、その観察を通して、生き物を見る目を養う。                         |
| 基礎学力演習Ⅰ     | 保育者として必要な保育用語について知るとともに、敬語やマナー、礼状の書き方等の教養事項について理解する。また、言葉のレッスンや名文の音読、視写、テーマ作文等の練習を通して、日本語の楽しさや美しさを理解し、正しい日本語を身につけ、大切にしようとする態度を身につける。                  |
| おだたん人間成長講座Ⅰ | 本学の歴史や校歌を学び、読書、美術館鑑賞、日本の文化や古典芸能鑑賞を行い、地域活動へのかかわりを経験する。これらを通して本学の建学の精神や教育理念を理解し、本学学生としての自覚を高め、自己を見つめ、人としての生き方・学び方を考える。                                  |
| 職業と社会Ⅰ      | 保育者として社会に出たとき、各々の職場には様々な常識やマナーが存在する。それを一つの職業観として取り上げていく。子どもとかかわる仕事を選んだ学生に、どんな未来が待っているか、ワクワクしながら学んでいきたい。                                               |
| 職業と社会Ⅱ      | 「職業と社会Ⅰ」で学んだ職業観・就労意欲を基に、社会人として働く未来の自分の姿を描き、職業選択に生かしていく。現場の方々の姿に触れることで、専門性を持って働くことの意義や悩み・やりがい等について理解する。                                                |
| 英語          | 保育を学ぶ学生用に編集された英語教材『保育の英会話』のテキストと音声を使って、保育現場での日常や行事等で必要とされる英語を学習する。将来保育現場で英語での対応が必要になった時に必要な単語力・基礎的な会話力を養成し、英語の常識や他国の保育事情にも目を向ける。                      |
| 英会話         | 初級者を対象に聞く力、話す力をつけるために、ネイティブスピーカーにより、学生のspeakingとlisteningを中心に、実践力を養成する。それとともに他の国のカルチャーを学んで、多文化共生社会に適用できる人材を育成する。教材には、携帯電話、インターネット、ゲーム、ビデオ等多様な機器を活用する。 |
| 健康・スポーツ理論   | 健康は自分の責任のもとに守られるべきものであり、自らの人生目標達成の大きな要素となるものである。本授業では、自己の健康を維持向上させる上で必要な基本的な知識と現代生活における身近な健康問題を取り上げ、健康生活実践の態度を身につけることを目的とする。                          |
| 健康・スポーツ実技   | 健康に関する基本的な知識やこれまで体験してきたスポーツ種目のスキルアップを目指す。環境に応じたスポーツ展開の創造へと発展させ、実生活に役立つスポーツ実践を体得すると同時に、生涯スポーツへの方向付けをする。                                                |

## ◆専門科目◆

| 科目名     | 授業科目の概要                                                                                                                                |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保育原理    | 保育の意義及び目的について理解する。保育に関する法令に基づく制度について学び、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領に則った保育の基本・目標と方法について理解する。また保育の思想と歴史的変遷を学び、保育の現状と課題について考える。      |
| 教育原理    | 教育の理念、思想、歴史などの検討を通して教育学の基礎的な知識について体系的に学ぶとともに、教育にかかわる今日的な課題についても原理的に考察する。教えることや学ぶことはどのような営みなのか、先人の教育観や子ども観を学び、現代的に考えることができるようにすることを目指す。 |
| 教育制度論   | 教育・保育実践を支える制度について、その構造や原理、社会的意義や必要性などの基礎を学んだのち、現在に至るまでの制度の変化や最近の政策動向を知り、それが教育・保育に与える影響、現在の制度が抱える課題等について検討し、理解を深める。                     |
| 子ども家庭福祉 | 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史を知り、現代の制度や実施体系について理解する。子ども家庭福祉の現状について理解を深めながら、子どもの人権擁護についても考察していく。最後に今後の展開について解説し、学生とともに考える。                      |
| 社会福祉    | 現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷、社会福祉における子ども家庭福祉の視点を理解する。社会福祉の制度や実施体制を理解し、相談援助について学ぶとともに、利用者の保護に関わる仕組みについて理解を深める。さらに社会福祉の動向と課題を考察する。              |

| 科目名         | 授業科目の概要                                                                                                                                            |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 子ども家庭支援論    | 子育て家庭に対する支援の意義と目的、保育の専門性を生かした支援の基本を理解する。子育て家庭に対する支援体制を知る。加えて、支援サービスや地域資源を活用した保育士の活動について学び、子育て家庭のニーズに応じた支援の展開と課題について考察する。                           |
| 社会的養護Ⅰ      | 社会的養護の意義について、子どもの人権擁護や保育士等の倫理と責務を踏まえて理解する。歴史的変遷を辿り、今日の社会的養護の制度や実施体系、施設養護や家庭養護の実態を学ぶ。さらに、社会的養護の現状と課題について、施設運営管理や被措置児童等虐待防止、地域福祉との関係を踏まえて考察する。       |
| 保育者論        | “保育者とは何か”を命題とし、学生一人一人が目指していくべき保育者像を追及していく。また実際に保育現場で保育者が働いている様子から伺える様々な葛藤、それを通しての成長の過程等をエピソードを交えながら講義を進める。                                         |
| 保育の心理学Ⅰ     | 発達に関する心理学の基礎理論を習得し、生涯発達の視点から人間の発達について理解する。また遊びや学習の過程について学ぶ。これらの学習をとおして、子どもと保育者との社会的相互作用の観点から保育者としての視点や姿勢について考察していく。                                |
| 子ども家庭支援の心理学 | 発達における初期体験の重要性、各時期の移行、発達課題等を整理し、そうした発達を支える家族・家庭の機能を理解する。また子どもの精神保健についても基礎知識を習得する。これらの学習をとおして、現代の子育て状況と課題を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を学ぶ。                |
| 子どもの保健      | 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。子どもの身体的な発育・発達と保健、心身の健康状態とその把握方法について理解する。また、子どもの疾病と予防法及び他職機関の連携・協働の下での適切な対応について理解する。                                     |
| 子どもの食と栄養Ⅰ   | 小児期の食生活は、生涯にわたる健康な生活を送るための基本となる。そのため、保育者自身も、この時期の食事の重要性を十分に理解する必要がある。本科目では、食生活の意義や栄養の基本的知識を学び、子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。                          |
| 子どもの食と栄養Ⅱ   | 子どもの食と栄養Ⅰに引き続き、栄養に関する知識（五大栄養素、食生活指針、食事バランスガイドなど）を深める。食品行事や、食育の基本についても理解し、その実態を学ぶ。身近な食に関する諸問題についても学び、普段の自分たちの食生活（行事食など）を振り返り、望ましい食生活とはどうあるべきかを考察する。 |
| 保育カリキュラム論   | 保育における計画及び評価の重要性について理解する。保育の全体的な計画の編成と指導計画の作成について事例を通して、意義と方法を学ぶ。子ども理解に基づく保育の過程について（計画⇒実践⇒省察・評価⇒改善）その構造を捉え、保育内容の充実と質の向上について考える。                    |
| 保育内容総論Ⅰ     | 保育の全体構造を理解し「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」と保育内容の関連を学ぶ。子どもの発達や社会状況、保育内容の歴史等を踏まえ、保育内容の基本的な考え方を子どもの発達や実態に即して、多様な保育展開ができるよう具体的な保育の過程につなげて理解する。   |
| 人間関係指導法     | 幼児期の人間関係の発達に関する学びを基に、領域「人間関係」のねらい及び内容への理解を深める。幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法や保育の展開について、演習を通して身につける。                                        |
| 環境指導法       | 領域「環境」における内容を基本として、子どもが環境とかかわる力を培うことができるようなより具体的な指導法とはどういったものかを考える。指導計画を実際に作成し、それを実践する中で子どもへの援助の在り方等を学ぶ。模擬保育を通して実践的に学ぶ。                            |
| 健康指導法       | 領域「健康」に示されたねらいを達成することを目的に、幼児の基本的な生活習慣や態度を育成するために必要な基礎的な理論、および実践法について学ぶ。さらに、保育の場における「健康」に関する課題、他の領域との関連性についても理解を深める。                                |
| 言葉指導法       | 保育において育みたい幼児の資質・能力について学ぶとともに、領域「言葉」のねらい及び内容についての理解を深める。また、言葉の発達に即して、言葉遊びや児童文化財を適切に活用する技術を体験的に学び、保育を構想する力を身につける。                                    |
| 表現指導法       | 保育者として子どもの表現力をどのように育て、援助していけばよいかについて学ぶ。子どもと豊かに関わり、育ちを支えるために必要な保育者自身の感性とそれを支える表現技術の獲得を目指す。さらに、保育の場における「表現」に関する課題、他の領域との関連性についても理解を深める。              |
| 乳児保育Ⅰ       | 乳児保育の意義、目的、歴史的変遷、役割などを現状と課題を含めて学ぶ。保育所や乳児院等多様な保育の場を知り、3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容を理解し、その運営体制や職員間の連携、家庭、地域との連携等について学ぶ。                                      |
| 乳児保育Ⅱ       | 乳児保育Ⅰで学んだ基本的考え方を軸に、3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わり方、配慮の実態を具体的に学ぶ。養護と教育の一体性を踏まえた3歳未満児の生活や遊び、保育方法、環境について、計画の作成や演習を通して具体的に学ぶ。                            |
| 情報処理論       | コンピュータは保育現場では、園のおたより作成、ホームページ運用、保育記録などの電子化、保護者との連絡手段、会計管理など様々な活用をされている。この科目では、IT技術の発展の流れやアプリケーションを構成している要素技術を理解し、保育現場の実務レベルでのコンピュータ・リテラシーの習得を目指す。  |
| 子どもの健康と安全   | 保健的観点に基づく保育の環境整備や援助について理解する。体調不良等に対する適切な対応や関連するガイドラインやデータ等を踏まえ保育における健康および安全管理、感染症対策、保育における保健的対応を具体的に理解する。子どもの健康及び安全管理の実施体制や保健活動の計画及び評価等について理解する。   |

| 科目名            | 授業科目の概要                                                                                                                                              |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 障害児保育          | 障害児等の理解と保育における援助、指導計画及び個別の支援計画の作成、生活や遊びの環境、子ども同士の関係性、職員間の連携・協働について学ぶとともに、家庭・関係機関及び小学校等との連携・協働について理解し、保健・医療・福祉・教育の現状と課題を知る。                           |
| 特別支援教育・保育概論    | 子どもの発達や権利を保障するために、特別な支援・配慮を必要とする幼児、児童及び生徒(障がい・虐待・社会的マイノリティ)の特性や社会的背景に関する基本的知識、教育課程及び支援施策を学ぶ。さらに共生社会を目指した実践事例についても理解を深める。                             |
| 社会的養護Ⅱ         | 施設養護及び家庭養護の実践について具体的に理解する。社会的養護の必要な子どもの特性や現状を踏まえ、日常生活支援、治療的支援、自立支援の視点で事例から実践的に学ぶ。また、家庭支援、アセスメントの方法や個別の支援計画、記録、自己評価など、ソーシャルワークの専門的技術と知識を学ぶ。           |
| 子育て支援          | 保護者に対する子育て支援には、相談、助言、情報提供などがあり、援助技術は、家族の現状把握、支援計画、支援の実践や記録、評価、カンファレンス、職員間連携や協働、社会資源の活用など、多岐にわたる。保育士が専門的に実施する相談援助の方法と技術について、具体的な場面を想定して実践的に学ぶ。        |
| 音楽表現Ⅰ          | 保育内容を理解し、子どもの音楽の表現遊びを豊かに展開するために必要な基本的知識と技術を、また身近な自然等の音や人の声、音楽に親しむ経験を通して保育環境の構成を、さらに、子どもの日常生活や遊びと音楽活動とを関連づける遊びの展開を習得する。(音楽基礎理論・声楽・鍵盤楽器の技術・簡易打楽器など)    |
| 造形表現Ⅰ          | 子どもの保育内容を理解し、造形遊びを豊かに展開するために必要な基本知識と技術を習得する。また、身近な自然やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ経験をする中で、様々な用具、素材や教材に触れ、保育環境の構成や表現活動に関する保育技術を習得する。                            |
| 身体表現Ⅰ          | 子どもの身体運動に関する基礎的な知識を理解するとともに、保育者としての運動技能や身体表現力を高めることを目指す。模擬保育などの実践を通して遊びを豊かに展開するために必要な技術を習得できるようにする。さらに、幼児が興味・関心を示し、安全で積極的に身体表現活動に関われるような実践法について学ぶ。   |
| 言語表現           | 素話や絵本、紙芝居、ペープサート、パネルシアター、言葉遊びなど、子どもの言語発達に関わる児童文化財の特徴や正しい扱い方を学ぶ。また、集団を前にしての実技と相互批評を通して、保育現場で子どもの言語活動を豊かに展開する実践力を身につけるようにする。                           |
| 保育・教職実践演習(幼稚園) | これまでの学校における保育者養成の学習内容を学生一人一人、履修カルテを用いて今一度整理する。保育実践における具体的な事例の検討および保育現場の実情に触れながら保育を実践する指導力の育成を目指す。模擬保育を通して実践的に学ぶ。                                     |
| 教育社会学          | 教育と社会のあり方について、教育改革の動向、多様化・複雑化する教育の今日的課題への対応の仕方、学力格差、学校外での学びなどに焦点をあてて検討する。これらを通じて、学校を巡る様々な教育的課題に対する指導のあり方、社会変動と教育に関する知見を深める。                          |
| 幼児理解の理論と方法     | 子どもの生活や遊びの中からその発達や学びについての理解を深めるため、そして集団の中での一人ひとりの子ども理解を深めるための、記録や観察方法、子どもの行為の裏にある「思い」に気づき、寄り添うまなざしとそれに基づく援助について学び、保育者の役割について考える。                     |
| 教育相談           | 保護者の相談を受けること、保護者と連携しながら子どもの発達を支援することが保育者の重要な役割となっていることを学ぶ。保護者と信頼関係を築くため、また関係機関と連携するために必要な態度や知識、カウンセリングマインドに基づくかわりについて理解を深める。                         |
| 音楽表現Ⅱ          | 保育内容を理解し、子どもの音楽の表現遊びを豊かに展開するために必要な基本的知識と技術を、また身近な自然等の音や人の声、音楽に親しむ経験を通して保育環境の構成を、さらに、子どもの日常生活や遊びと音楽活動とを関連づける遊びの展開を習得する。(コード伴奏法・子どもの歌・遊び・簡易打楽器の技術など)   |
| 音楽表現指導法        | 音楽表現Ⅰおよび音楽表現Ⅱの教授内容を基礎に、子どもの音楽表現活動を豊かに展開するために必要な基礎知識と技術を、また身近な自然やものの音、人の声や音楽を親しむ経験を通して保育環境の構成を、さらに音楽遊び計画案の立案や実践を通して子どもの日常生活や遊びと音楽活動とを関連づける遊びの展開を習得する。 |
| 身体表現Ⅱ          | 身体表現Ⅰの学習をもとに、子どもの運動遊びやリズム・表現遊び等について実践的な指導力を身につける。また、保育者として自らの運動技能を高めるために必要な運動技術の正しい理解と身体操作能力の向上を目指す。                                                 |
| 身体表現指導法        | 身体表現Ⅰおよび身体表現Ⅱの教授内容を基礎として指導案の作成から実際の指導、教材研究の在り方などについて学ぶ。学生個々が課題を持ち寄り、指導案をもとに模擬保育を実践、終了後は自己評価を行うことによって確実な指導力を身につける。                                    |
| 造形表現Ⅱ          | 造形表現Ⅰを基に、保育者として必要な造形表現に係る教材等の活用及び作成法を習得する。また、子どもの経験や様々な表現活動と造形活動とを結びつける遊びの展開や、イメージや感性を養う環境構成及び具体的展開のための保育技術を習得する。                                    |
| 造形表現指導法        | 造形表現Ⅰおよび造形表現Ⅱの教授内容を基礎として指導案の作成から実際の指導、教材研究の在り方などについて学ぶ。学生個々が課題を持ち寄り、指導案をもとに模擬保育を実践、終了後は自己評価を行うことによって確実な指導力を身につける。                                    |
| 教育の方法と技術       | 子どもの学びを支える教育方法や教育技術、教育目標や教授方法などについて理解する。また、教師を目指す学生自身のICT活用能力を高め、学校現場におけるツールを効果的に活用した教育計画、実施、教材の開発、授業評価に関わる知識と技術を習得し、実践的な指導力を育成する。                   |
| 教育実習           | 教育実習は2年次6月～11月に4週間を原則として同一の幼稚園で実習する。実習最初の1週では、観察実習を通じて幼稚園における子どもの姿や教師の役割について理解し、2週目以降の参加・指導実習に備える。3週目には部分実習、4週目には責任実習を行う。                            |



| 科目名    | 授業科目の概要                                                                                                                                                   |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育実習指導 | 実習の意義・目的・内容の理解を中心に、実習の準備とその省察を行う。事前学習では、子ども・保育者・幼稚園の役割に関する理解を意識化するとともに自己の課題を明確化する。事後学習では、実習体験を振り返り、自己の実習課題の達成と成果について省察し、更なる実践力の獲得につなげる。                   |
| 人間関係   | 領域「人間関係」の指導の基盤となる、幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項についての知識を身につける。幼児を取り巻く人間関係の現代的課題を理解するとともに、園生活における関係の体験について演習を通して学び、幼児期の人間関係の発達を理解する。                                |
| 環境     | 5領域の1つ「環境」について学ぶ。保育所や幼稚園、認定こども園等における環境とは何かを考える。環境とかわる力を子どもに培うためには自身が保育者として行うべき保育を追及する。しいては日頃の生活から保育者として環境をどう捉えていくべきなのかを再考できる授業としたい。                       |
| 健康     | 領域「健康」の指導に関する幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの事項について、知識や情報、事例等を通して理解を深めることにより、専門的な知識を身につける。                                                                 |
| 言葉     | 言葉の意義や機能、言葉遊び、児童文化財等についての学習を通して、領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児の言葉を育てるために必要な専門的知識を身につける。また、児童文化財の活用を体験し、言葉についての事例研究を検討することにより、言葉についての考察を深める。                           |
| 表現（音楽） | 幼児の音楽的遊びや生活と領域「表現」の関連性、幼児の音楽的発達を理解する。様々な音楽的表現活動を通して音楽の楽しさを味わうと共にその楽しさの要因を音楽的知識から探る。また音楽表現活動を通して他者の表現への共感や表現を豊かにしていく過程を学び、幼児の音楽表現活動計画を立案し実践する。             |
| 表現（造形） | 造形での遊びは、頭や体全体を使って表現することで、知識や心を獲得していきます。子どもたちの発想や創造的思考を理解するためには、それに同調できるアンテナを持っていなければなりません。自分の感性を高め、柔軟な思考を保っていくことが重要です。授業では、子どもたちの表現を受け止め理解していく柔軟な感性を学びます。 |

## ◆専攻科開講科目◆

| 科目名        | 授業科目の概要                                                                                                                                                |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 児童文学       | 日本児童文学の代表作を読み深めながら、児童文学の歴史や特質、作家についての知識を得るとともに、保育者として必要な読解力と文学的感性を養う。毎回、作品を通読した後、作品の主題について分析・検討し、大人たちが見失いがちな子どもの純粋な世界について、保育の視点から考察する。                 |
| 児童文化       | 子ども特有の遊びや文化財を人間の文化全体の中で概観し、子どもの生活や人間関係に潤いを与える児童文化財の価値を考察する。子どもの遊びを豊かにする児童文化財（絵本、人形劇等）を活用する際の基礎的な知識と技術を身につける。                                           |
| ボランティア活動   | 地域社会において福祉・教育・保育などの領域に関わる場におけるボランティア活動に参加することを通して、多様な生き方を理解するとともに、社会貢献の意義を実感する。また、人とのかわりを通じてコミュニケーション能力、社会性を習得し、実践による知識技術の確認をする。                       |
| 保育実習Ⅰ（保育所） | 既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。保育所の役割や機能を理解するとともに、観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。保育の計画・観察・記録及び自己評価、保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。                   |
| 保育実習Ⅰ（施設）  | 児童福祉施設等における子ども・利用者の生活と援助方法、施設の役割と機能を具体的に学ぶ。観察、実践を記録し、支援方法や支援計画を省察し、子ども理解を深めるとともに自身の自己評価を行う。実習を通して、専門職としての保育士の役割と職業倫理を学ぶ。                               |
| 保育実習指導Ⅰ    | 保育実習の意義・目的、実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。また、保育所及び児童福祉施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務、実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容を学ぶ。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、課題や目標を明確にする。 |
| 保育実習Ⅱ      | 既習教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、保育所の役割や機能、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。観察や関わり方の視点を明確にし、保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。保育士の業務内容や職業倫理を理解し、実習における自己の課題を明確化する。     |
| 保育実習指導Ⅱ    | 保育実習の意義と目的を理解し、実習や既習の教科目の内容等を踏まえ、保育の実践力を習得する。保育士の専門性と職業倫理について理解するとともに、保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について学ぶ。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。     |
| 保育実習Ⅲ      | 児童福祉施設（保育所以外）の役割や機能について、既習の教科目や保育実習の経験を踏まえて理解を深める。子どもや保護者の支援に関する知識、技術を養い、施設における支援の実践を社会的養護の原理と関連付けて学習する。児童福祉施設の業務の現状と課題を学ぶとともに、自己課題を明確にする。             |
| 保育実習指導Ⅲ    | 児童福祉施設（保育所以外）における保育実習の意義と目的を総合的に学ぶ。既習の教科目の内容や関連性を踏まえ、保育の実践力を修得する。子ども・利用者に対する知識・技術を活かした保育実践を学び、適切な観察、記録、自己評価、保育士の専門性と職業倫理について理解する。実習事後指導により各自の課題を明確にする。 |



# 教員免許・資格読替表

## ◆教育職員免許法施行規則に定める科目と本学開講科目読替表 《幼稚園教諭二種免許状》

【教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目】

★＝必修

| 定<br>施<br>行<br>規<br>則<br>六<br>十<br>六<br>条<br>の<br>六<br>に<br>定<br>め<br>る<br>科<br>目 | 免許法施行規則に定める科目及び単位数 |     | 左記に対応する本学における開講科目 |      | 単位数    |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-----|-------------------|------|--------|--|
|                                                                                   | 科目                 | 単位数 | 授業科目              | テキスト | スクーリング |  |
|                                                                                   | 日本国憲法              | 2   | ★日本国憲法            | 2    |        |  |
|                                                                                   | 体育                 | 2   | ★健康・スポーツ理論        | 1    |        |  |
|                                                                                   |                    |     | ★健康・スポーツ実技        |      | 1      |  |
|                                                                                   | 外国語コミュニケーション       | 2   | ★英語               | 2    |        |  |
|                                                                                   |                    |     | 英会話               |      | 1      |  |
|                                                                                   | 情報機器の操作            | 2   | ★情報処理論            |      | 2      |  |
|                                                                                   |                    |     | 必修：8単位    選択：1単位  | 5    | 4      |  |

【幼二種免・領域及び保育内容の指導法に関する科目】

| 領域及び<br>保育内容の<br>指導法に<br>関する科目 | 免許法施行規則に定める科目及び単位数 |      |                       | 左記に対応する本学における開講科目 | 単位数  |        |
|--------------------------------|--------------------|------|-----------------------|-------------------|------|--------|
|                                | 科目                 |      | 単位数                   |                   | テキスト | スクーリング |
|                                | 領域に関する<br>専門的事項    | 言葉   | 6                     | ★言葉               | 1    |        |
|                                |                    | 表現   |                       | ★表現（音楽）           | 1    |        |
|                                |                    |      |                       | ★表現（造形）           | 1    |        |
|                                |                    | 人間関係 |                       | ★人間関係             | 1    |        |
|                                |                    | 環境   |                       | ★環境               | 1    |        |
|                                |                    | 健康   |                       | ★健康               | 1    |        |
| 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）      |                    |      | ★保育内容総論Ⅰ              |                   | 1    |        |
|                                |                    |      | ★環境指導法                |                   | 1    |        |
|                                |                    |      | ★健康指導法                | 2                 |      |        |
|                                |                    |      | ★言葉指導法                |                   | 1    |        |
|                                |                    |      | ★表現指導法                | 2                 |      |        |
|                                |                    |      | ★人間関係指導法              | 2                 |      |        |
|                                |                    |      | 必修：15 単位      選択：0 単位 | 12                | 3    |        |

【幼二種免・教育の基礎的理解に関する科目】

| 免許法施行規則に定める科目及び単位数    |                                                   |   | 左記に対応する本学における開講科目 |        | 単位数 |  |
|-----------------------|---------------------------------------------------|---|-------------------|--------|-----|--|
| 科目                    | 単位数                                               |   | テキスト              | スクーリング |     |  |
| 教育の基礎<br>理解に<br>関する科目 | 教職の意義及び教員の役割・職務内容<br>(チーム学校運営への対応を含む。)            | 2 | ★保育者論             | 2      |     |  |
|                       | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想                              | 6 | ★教育原理             | 1      |     |  |
|                       | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項<br>(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) |   | ★教育制度論            | 1      |     |  |
|                       | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程                            |   | ★教育社会学 ※2         | 1      |     |  |
|                       | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒<br>に対する理解                    |   | ★保育の心理学Ⅰ          | 2      |     |  |
|                       | 教育課程の意義及び編成の方法<br>(カリキュラム・マネジメントを含む。)             |   | ★特別支援教育・保育概論      | 1      |     |  |
| 指導、教育<br>に関する科目       | 教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)                       | 4 | ★保育カリキュラム論        | 2      |     |  |
|                       | 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)                      |   | ★教育の方法と技術         | 2      |     |  |
|                       | の理論及び方法                                           |   | ★教育相談             | 1      |     |  |
| 教育実践<br>に関する科目        | 幼児理解の理論と方法                                        |   | ★幼児理解の理論と方法       |        | 1   |  |
|                       | 教育実践演習                                            | 2 | ★保育・教職実践演習 (幼稚園)  |        | 2   |  |
|                       | 教育実習                                              | 5 | ★教育実習             |        | 4   |  |
|                       |                                                   |   | 教育実習 ※1           |        | 3   |  |
|                       |                                                   |   | 教育実習 ※1           |        | 2   |  |
|                       |                                                   |   | 教育実習 ※1           |        | 1   |  |
|                       |                                                   |   | ★教育実習指導           |        | 1   |  |
|                       |                                                   |   | 必修：20単位 選択：7単位    | 13     | 14  |  |

【幼二種免・大学が独自に設定する科目】

| 免許法施行規則に定める科目及び単位数 |     | 左記に対応する本学における開講科目 |        | 単位数 |  |
|--------------------|-----|-------------------|--------|-----|--|
| 科目                 | 単位数 | テキスト              | スクーリング |     |  |
| 大学が独自に設定する科目       | 2   | ★保育原理             | 2      |     |  |
|                    |     | 子ども家庭支援の心理学 ※2    | 2      |     |  |
|                    |     | 子ども家庭支援論 ※2       | 2      |     |  |
|                    |     | 必修：2単位 選択：4単位     | 6      |     |  |

## ◆児童福祉法施行規則に定める科目と本学開講科目読替表 《保育士資格》

★＝必修

| 告示による教科目 |                 |       | 左記に対応する本学の科目名・単位数 |      |        |
|----------|-----------------|-------|-------------------|------|--------|
| 系列       | 教科目             | 単位数   | 本学開講科目            | 単位数  |        |
|          |                 |       |                   | テキスト | スクーリング |
| 教養科目     | 外国語、<br>体育以外の科目 | 6 以上  | 文学                | 2    |        |
|          |                 |       | 心理学               | 2    |        |
|          |                 |       | 経済学               | 2    |        |
|          |                 |       | 日本国憲法             | 2    |        |
|          |                 |       | 生物学               | 2    |        |
|          |                 |       | 基礎学力演習Ⅰ           | 2    |        |
|          |                 |       | ★おだたん人間成長講座Ⅰ      | 2    |        |
|          |                 |       | 職業と社会Ⅰ            | 1    |        |
|          |                 |       | 職業と社会Ⅱ            | 1    |        |
|          |                 |       | 情報処理論             |      | 2      |
|          | 外国語             | 2 以上  | ★英語               | 2    |        |
|          |                 |       | 英会話               |      | 1      |
|          | 体育              | 1     | ★健康・スポーツ理論        | 1    |        |
|          |                 |       | ★健康・スポーツ実技        |      | 1      |
| 合計       |                 | 10 以上 | 10単位以上（必修6単位含む）   | 19   | 4      |

| 告示別表第1による教科目       |             |       | 左記に対応する本学の科目名・単位数 |      |        |
|--------------------|-------------|-------|-------------------|------|--------|
| 系列                 | 教科目         | 単位数   | 本学開講科目            | 単位数  |        |
|                    |             |       |                   | テキスト | スクーリング |
| 保育の本質・目的に<br>関する科目 | 保育原理        | 2     | ★保育原理             | 2    |        |
|                    | 教育原理        | 2     | ★教育原理             | 1    |        |
|                    |             |       | ★教育制度論            | 1    |        |
|                    | 子ども家庭福祉     | 2     | ★子ども家庭福祉          | 2    |        |
|                    | 社会福祉        | 2     | ★社会福祉             | 2    |        |
|                    | 子ども家庭支援論    | 2     | ★子ども家庭支援論         | 2    |        |
|                    | 社会的養護Ⅰ      | 2     | ★社会的養護Ⅰ           | 2    |        |
| 保育の対象の理解に<br>関する科目 | 保育者論        | 2     | ★保育者論             | 2    |        |
|                    | 保育の心理学      | 2     | ★保育の心理学Ⅰ          | 2    |        |
|                    | 子どもの理解と援助   | 1     | ★幼児理解の理論と方法       |      | 1      |
|                    | 子ども家庭支援の心理学 | 2     | ★子ども家庭支援の心理学      | 2    |        |
|                    | 子どもの保健      | 2     | ★子どもの保健           | 2    |        |
|                    | 子どもの食と栄養    | 2     | ★子どもの食と栄養Ⅰ        | 1    |        |
|                    |             |       | ★子どもの食と栄養Ⅱ        |      | 1      |
| 保育の内容・方法に<br>関する科目 | 保育の計画と評価    | 2     | ★保育カリキュラム論        | 2    |        |
|                    | 保育内容総論      | 1     | ★保育内容総論Ⅰ          |      | 1      |
|                    | 保育内容演習      | 5     | ★人間関係指導法          | 2    |        |
|                    |             |       | ★環境指導法            |      | 1      |
|                    |             |       | ★健康指導法            | 2    |        |
|                    |             |       | ★言葉指導法            |      | 1      |
|                    |             |       | ★表現指導法            | 2    |        |
|                    | 乳児保育Ⅰ       | 2     | ★乳児保育Ⅰ            | 2    |        |
|                    | 乳児保育Ⅱ       | 1     | ★乳児保育Ⅱ            |      | 1      |
|                    | 障害児保育       | 2     | ★特別支援教育・保育概論      | 1    |        |
|                    |             |       | ★障害児保育            |      | 1      |
|                    | 保育内容の理解と方法  | 4     | ★身体表現Ⅰ            |      | 1      |
|                    |             |       | ★言語表現             |      | 1      |
|                    |             |       | ★音楽表現Ⅰ            |      | 1      |
|                    |             |       | ★造形表現Ⅰ            |      | 1      |
|                    | 子どもの健康と安全   | 1     | ★子どもの健康と安全        |      | 1      |
|                    | 社会的養護Ⅱ      | 1     | ★社会的養護Ⅱ           |      | 1      |
|                    | 子育て支援       | 1     | ★子育て支援            |      | 1      |
| 保育実習               | 保育実習指導Ⅰ     | 2     | ★保育実習指導Ⅰ          |      | 2      |
|                    | 保育実習Ⅰ       | 4     | ★保育実習Ⅰ（保育所）       |      | 2      |
|                    |             |       | ★保育実習Ⅰ（施設）        |      | 2      |
| 総合演習               | 保育実践演習      | 2     | ★保育・教職実践演習（幼稚園）   |      | 2      |
| 合計                 |             | 51 単位 | 必修 54 単位          | 32   | 22     |

★＝必修

| 告示別表第2による教科目「選択必修科目」        |                  |                                                                                | 左記に対応する本学の科目名・単位数 |      |        |
|-----------------------------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------|--------|
| 系列                          | 教科目              | 単位数                                                                            | 本学開講科目            | 単位数  |        |
|                             |                  |                                                                                |                   | テキスト | スクーリング |
| 保育の本質・目的に関する科目              | 各指定保育士養成施設において設定 | 18単位以上開設<br>9単位以上(うち<br>保育実習Ⅱ・保育<br>実習指導Ⅱまたは<br>保育実習Ⅲ・保育<br>実習指導Ⅲ<br>を3単位以上)取得 | 教育社会学             | 1    |        |
| 保育の対象の理解に関する科目              |                  |                                                                                | 教育相談              | 1    |        |
| 保育の内容・方法に関する科目              |                  |                                                                                | ボランティア活動          | 2    |        |
|                             |                  |                                                                                | 身体表現指導法           |      | 1      |
|                             |                  |                                                                                | 造形表現指導法           |      | 1      |
|                             |                  |                                                                                | 音楽表現指導法           |      | 1      |
|                             |                  |                                                                                | ★音楽表現Ⅱ            |      | 1      |
|                             |                  |                                                                                | ★造形表現Ⅱ            |      | 1      |
|                             |                  |                                                                                | ★身体表現Ⅱ            |      | 1      |
|                             |                  |                                                                                | 児童文化              | 2    |        |
| 児童文学                        |                  |                                                                                | 2                 |      |        |
|                             |                  |                                                                                | 教育の方法と技術          | 2    |        |
| 保育実習<br>★①または★②の<br>いずれかを選択 | 保育実習Ⅱ            | いずれか必修<br>★①〔<br>★②〔                                                           | 保育実習Ⅱ             |      | 2      |
|                             | 保育実習指導Ⅱ          |                                                                                | 保育実習指導Ⅱ           |      | 1      |
|                             | 保育実習Ⅲ            |                                                                                | 保育実習Ⅲ             |      | 2      |
|                             | 保育実習指導Ⅲ          |                                                                                | 保育実習指導Ⅲ           |      | 1      |
|                             |                  |                                                                                | 9単位以上(必修6単位含む)    | 10   | 12     |

正科生

### 《社会福祉主事任用資格》

| 区分     | 要件    | 本学開講科目  | 単位数  |        |
|--------|-------|---------|------|--------|
|        |       |         | テキスト | スクーリング |
| 社会福祉概論 | 3科目以上 | 社会福祉    | 2    |        |
| 児童福祉論  |       | 子ども家庭福祉 | 2    |        |
| 保育理論   |       | 保育原理    | 2    |        |
| 経済学    |       | 経済学     | 2    |        |
| 心理学    |       | 心理学     | 2    |        |
| 教育学    |       | 教育原理    | 1    |        |

※社会福祉主事任用資格は「社会福祉法」に定められた任用資格です。

※厚生労働大臣の指定する科目のうち、3科目以上を充たすことで、卒業時に取得が可能です。

# 各種実習について

## 1. 教育実習（幼稚園教諭二種免許状）

### 《目的》

教育実習は、将来教職に就く方のために教育職員免許法施行規則第6条に基づき、学校教育の場において大学で学んだ理論や知識を活かすとともに、教育の現場に学びながら、実践的な知識・技能・態度等の基礎を修得するためのものです。

### 《教育実習受講資格》

本学では以下の事項を教育実習の受講資格としています。

- （１）本学で定める教育実習に必要な単位数を教育実習開始までに修得済みもしくは履修していること。  
なお、本学の定める実習中止基準に抵触した場合は、実習に行けなくなることがあります。  
（詳細は、入学後にご確認ください。）
- （２）必要な予防接種を期日までに受けている。
- （３）妊娠していない。
- （４）学外での実習が可能な心身の健康上の条件を満たしている。
- （５）学則及び規程の違反がない。
- （６）指定科目〈必修〉において、授業（スクーリング）への遅刻が3回以上、または無断欠席が2回以上の科目がない。
- （７）その他、実習に参加するにふさわしくない事由がない。

### 《単位数および実施方法》

教育実習は、「教育実習指導」1単位と、実習園で行う「教育実習」4単位をもって、5単位とし実習園の教職員の指示に従って活動します。必要な単位数や実習日数は次の通りです。

| 取得希望免許状 | 必要単位数 | 内容                       | 実習期間       |
|---------|-------|--------------------------|------------|
| 幼稚園教諭二種 | 5単位   | 「教育実習指導」1単位<br>「教育実習」4単位 | 約4週間(20日間) |

### 《実習時期》

実習実施に必要な科目単位を履修、修得したうえで、原則として2年次6月～11月に実施します。

### 《実習園の確保》

受入園には実習受け入れの義務は一切ありません。したがって、原則として実習園の確保は学生自身が責任をもって開拓（自己開拓）することになります。一般的に、教育委員会、最寄りの園等と交渉し、確保することを原則とします。  
ただし、一部の地域での公立園では特別な申請手続きが必要となり、個人で実習園の確保ができない場合もありますので、早い時期に実習希望地域の教育委員会、実習希望園（原則、母園以外）の条件等を把握しておいてください。



## 2. 保育実習(保育士資格) 専攻科開講科目

### 《目的》

保育の現場及び保育業務を体験し、保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解するとともに、保育士として必要な資質・能力・技術の習得を目指すためのものです。

### 《実施資格》

本学では以下の事項を保育実習の実施基準としています。

- (1) 本学で定める保育実習に必要な単位数を保育実習開始までに修得済みもしくは履修していること。  
(詳細は、入学後にご確認ください)
- (2) 定められた期日までに細菌検査を受けている。
- (3) 必要な予防接種を期日までに受けている。
- (4) 妊娠していない。
- (5) 学外での実習が可能な心身の健康上の条件を満たしている。
- (6) 学則及び規程の違反がない。
- (7) 指定科目〈必修〉において、授業(スクーリング)への遅刻が3回以上、または無断欠席が2回以上の科目がない。
- (8) その他、実習に参加するにふさわしくない事由がない。

### 《実習種別と単位数および実習施設》

|            | 実習種別       | 実習日数                   | 単位数 |   | 実習施設 |
|------------|------------|------------------------|-----|---|------|
| 必修         | 保育実習Ⅰ(保育所) | それぞれ10日間以上<br>かつ90時間以上 | 2   | 5 | (A)  |
|            | 保育実習Ⅰ(施設)  |                        | 2   |   | (B)  |
|            | 保育実習指導Ⅰ    | —                      | 1   |   |      |
| いずれか<br>必修 | 保育実習Ⅱ      | 10日間以上<br>かつ90時間以上     | 2   | 3 | (A)  |
|            | 保育実習指導Ⅱ    | —                      | 1   |   |      |
|            | 保育実習Ⅲ      | 10日間以上<br>かつ90時間以上     | 2   | 3 | (B)  |
|            | 保育実習指導Ⅲ    | —                      | 1   |   |      |

(A)…保育所※

(B)…乳児院、母子生活支援施設、障害児入所施設、児童発達支援センター(児童発達支援及び医療型児童発達支援を行うものに限る)、障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所(生活介護、自立訓練、就労移行支援または、就労継続支援を行うものに限る)、児童養護施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童相談所一時保護施設又は独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

※保育所 認可保育所または保育所型認定こども園

### 《実習時期》

原則、実習実施に必要な科目単位を修得したうえで、専攻科の6月～11月に実施します。

### 《実習施設の確保》

原則、実習施設は学生自身が責任をもって開拓(自己開拓)することになります。一般的に、自治体担当部署、出身園、最寄りの施設、縁故のある施設等と交渉し、確保することを原則とします。

ただし、一部の公立施設では特別な申請手続きが必要となる場合もありますので、早い時期に自治体の担当部署、実習希望施設の条件等を把握しておいてください。

### 保育実習Ⅲの履修について

上記科目の履修は、専攻科終了後、保育士資格を有して、施設で勤務されることを希望する方を対象に開講します。

## Q&A よくある質問

### 出願について

Q 入学には年齢制限はありますか？

A 年齢制限はありません。入学資格を満たす方ならどなたでも出願可能です。

Q 高校を卒業して、現在専門学校に通っていますが出願できますか？

A 専門学校（専修学校等）は二重学籍の扱いをしていませんので、合格すれば入学が許可されます。  
ただし、学業に支障がないかどうかはご自身でご判断ください。

Q 高校を卒業して、現在大学（短期大学）に通っていますが出願できますか？

A できません。他の大学に在籍したまま本学に籍をおくことは、二重学籍となるため入学できません。

Q 外国の学校を卒業しましたが、出願はできますか？

A 日本国籍を持ち、入学資格を満たしていれば出願可能です。入学資格については、「P.7入学資格」をご覧ください。  
なお、日本国籍以外の方におかれましては、本学で定めた入学資格の他に在学期間において長期滞在できるビザが必要となります。

### 通信教育について

Q 遠方ですが、通信教育を受けることはできますか？

A 可能です。  
スクーリングは対面型とオンデマンド型があります。対面型スクーリングは各スクーリング会場で受講する必要があるですが、テキスト科目等自宅で学習する時間も多々ありますので、遠方でも受講可能です。

Q 通信教育が初めてなので、勉強の進め方や試験等が心配です。

A 学習内容については、科目担当教員に直接質問ができるオフィスアワーや、学習支援システム（CoLS）で学習が進めやすいようサポートします。また、履修、資格取得、実習などについてもキャンパスアドバイザーがサポートしますのでご安心ください。

Q 出願期間が長いですが、出願が早いか遅いかによって学習開始に影響はありますか？

A 学習に影響が出ることはありません。スクーリング科目についても、原則初年次4月中の開講はありませんのでご安心ください。

## スクーリングについて

Q スクーリングの受講料・必要経費はどのくらいかかりますか？

A 本学では、スクーリング受講料・Web科目修得試験料はすべて学費に含まれています。  
詳しくは、「P.11学費」をご確認ください。

Q 都合が悪くて出席できないときは、対面型スクーリングを休んでもよいのでしょうか？

A スクーリングは、定められた日数・時間すべてに出席しなくてはなりませんので、欠席および遅刻・早退をした場合、原則として不合格となります。開講スケジュールを確認し、年度内に同じ科目の開講があればその科目を、開講がなければ次年度に履修登録をしてください。

Q 1年目で出席できなかったスクーリングがあった場合はどうすればいいですか？

A スクーリングのスケジュールを確認したうえで、次年度に履修登録してください。  
複数の日程をご用意していますが、1回の日程に開講される科目は限られていますので、綿密に履修計画を立てることが必要になります。履修計画において不明点等がある時は、キャンパスアドバイザーまでご相談ください。

Q スクーリング等の登校が必要な際にこどもを預かってくれる施設等がありますか？

A ご用意しておりませんので、ご自身で手配いただけますようお願いいたします。

Q 対面型スクーリングは年間何日ぐらい出席する必要がありますか？

A 最短年数での免許・資格の取得をご希望の場合、2年間または3年間で合計20日間程度（実習除く）の対面型スクーリングに出席する必要があります。

Q 対面型スクーリングはどこで実施しますか？

A スクーリングは、小田原短期大学（本校）に加え、千歳スクール・登米スクール・横浜関内スクーリング・大阪スクール・延岡スクール・名護スクール・宮古島スクールにて実施いたします。

## 実習について

Q 実習に際して定期券を購入することはできますか？

A 可能です（利用する路線等によって、発行不可の場合もあります）。  
所定の書式にて申請してください。

◆実習についての詳細は入学後にご案内いたします。

◆ここに掲載されていない質問やご不明な点がございましたら、通信教育課までお問い合わせください。

## 履修、試験について

Q 卒業に必要な単位数を教えてください。

A 卒業要件は62単位以上となります。このうち、15単位以上はスクーリング科目を修得する必要があります。また、1年間の履修登録上限は42単位となっています。  
卒業必修科目については、「P.12学則科目一覧」をご確認ください。

Q 以前に卒業した大学で教養科目を取得しましたが、単位として認められますか。

A 30単位を上限として、本学の単位として認める場合があります。出願時に取得した単位がわかる書類の提出等、確認手続きが必要となりますので、該当する場合は「P.10既修得単位・資格等による単位認定」をご確認ください。

Q 免許・資格は持っていませんが、保育現場で勤務した経験があります。免除される科目はありますか？

A 勤務経験により免除される科目はありません。

Q どこでWeb科目修得試験を受験できますか？

A ご自身のパソコンにて受験します。インターネット環境を整えてください。

## 学費のサポート

通信教育課程の学生には、以下のようなサポートがあります。

### 1. 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度は、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学をあきらめることのないよう支援することを目的として国が実施する制度です。詳しくは日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

### 2. 勤労学生の所得控除(正科生のみ)

働きながら学ぶ学生（正科生のみ）には、所得税に対する勤労学生控除が適用されます。  
控除の具体的な内容については、勤務先の給与担当者または最寄りの税務署にお尋ねください。

### 3. 学生運賃割引証

遠隔地在住の学生が、スクーリング・卒業研究等の学校行事に出席するためにJR線を利用する時、現住地の最寄駅から目的地までの片道乗車区間（営業キロ）が101km以上の場合に学割乗車券（運賃の2割引）を購入することができます。



# 出願書類確認表

全ての書類を出願用封筒に入れて、ご提出ください。

出願用封筒：市販の角2封筒（A4サイズの書類が入る封筒）

Post@net から「封筒貼付用宛名シート」をダウンロード、印刷し、封筒に貼付の上、本学まで郵送してください。

正  
科  
生

| 確認欄 | 出願書類                 | 備考                                                                                    |
|-----|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <b>1</b> 入学志願書①      | カラー写真（縦4cm×横3cm、3ヶ月以内に撮影した証明写真）貼付                                                     |
|     | <b>2</b> 入学志願書②      | ペンまたは消えないボールペンにて記入                                                                    |
|     | <b>3</b> 誓約書・保証書・同意書 | 署名、押印の上提出してください。                                                                      |
|     | <b>4</b> 健康診断書       | 出願前6ヶ月以内に発行されたもの                                                                      |
|     | <b>5</b> 入学資格を証明する書類 | 最終学校の卒業（見込）証明書                                                                        |
|     | <その他（入学関係書類）>        | ・高等学校卒業程度認定試験合格者<br>高等学校卒業程度認定試験合格証                                                   |
|     |                      | ・外国の学校を卒業された方（いずれかの書類を提出）※1<br>最終学校の卒業（見込）証明書<br>調査書（最終卒業学校作成、厳封のこと）<br>国際バカロレア資格証書 等 |
|     |                      | ・外国籍の方<br>特別永住者証明書または在留カードの写し                                                         |
|     |                      | 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書 ※2                                                             |
|     |                      |                                                                                       |

**1** は出願サイト『Post@net』、**2・3・4** は『通信教育課程ホームページ』よりダウンロードできます。  
詳細につきましては、通信教育課程ホームページ『インターネット出願ガイド』をご参照ください。

- ・証明書類はすべて出願前6ヶ月以内のものを提出してください。いずれもコピー不可とします。
- ・卒業見込の場合は、卒業証明書の代わりに「卒業見込証明書」を提出してください。  
また、入学式当日までに卒業証明書を提出してください。  
期日までに提出がない場合は、入学許可を取り消します。

※1 外国語の証明書を提出する場合は、証明書の日本語訳を添付してください。

※2 該当の方のみ

# 科目等履修生(特例)概要

## ◆科目等履修生(特例)

基礎資格のある方が、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格を取得するために必要な科目だけを履修することを目的とした制度です。

## ◆認定こども園法改正に伴う幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得の特例について

### \* TOPICS \*

- ★幼稚園教諭免許状を持っているけど、保育士資格は持っていない…
- ★保育士資格を持っているけど、幼稚園教諭免許状は持っていない…

**最短半年程度・8単位(6単位)の学習で取得可能!!**

2015年度から施行の「幼保連携型認定こども園制度」への円滑な移行・促進のため、幼稚園教諭免許状と保育士資格の取得要件の特例が設けられています。

また「教育職員免許法施行規則」の一部改正により、2023年4月1日施行に「新特例」「幼保2年特例」が設けられることになりました。

## ★保育士資格所有者が「幼稚園教諭免許状」を取得する場合

### 幼稚園教諭免許状取得コース

| 基礎資格                 |                                                                                                                                                                               |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高等学校卒業以上で、保育士資格を有する方 |                                                                                                                                                                               |
| 実務経験                 |                                                                                                                                                                               |
| 現行特例<br>(特例※)        | ・認定こども園、保育所等で保育士として「3年かつ4,320時間以上の実務経験がある」<br>または2030年3月の申請までに実務経験を積める見込みがある方                                                                                                 |
| 新特例                  | ・認定こども園、保育所等で保育士として「3年かつ4,320時間以上の実務経験がある」<br>または2030年3月の申請までに実務経験を積める見込みがある方<br><b>あわせて</b><br>・幼保認定こども園での保育士教諭として「2年かつ2,880時間以上の実務経験がある」<br>または2030年3月の申請までに実務経験を積める見込みがある方 |

### 現行特例 ※

～必要な単位数～

《大学での単位修得 8単位》

- 保育者論 → 2単位
- 教育制度論・日本国憲法 → 2単位
- 保育課程論 → 1単位
- 保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術 → 2単位
- 幼児理解の理論と方法 → 1単位

**5科目 8単位**  
すべてテキスト科目開講のため  
通学日数 0日!

※開講科目一覧 P31

### 新特例 (2023年4月より開講)

～必要な単位数～

《大学での単位修得 6単位》

- 保育者論 → 2単位
- 教育制度論・日本国憲法 → 2単位
- 保育課程論 → 1単位
- 保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術 → 1単位

**4科目 6単位**  
すべてテキスト科目開講のため  
通学日数 0日!

※開講科目一覧 P31

※募集コース名は、「特例」としています。

★幼稚園教諭免許状所持者が「保育士資格」を取得する場合

保育士資格取得コース

| 基礎資格             |                                                                                                                                                                          |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 幼稚園教諭免許状を有する方    |                                                                                                                                                                          |
| 実務経験             |                                                                                                                                                                          |
| 3年特例<br>(特例※)    | ・幼稚園、認定こども園、保育所等での幼稚園教諭として「3年かつ4,320時間以上の実務経験がある」または2030年3月の申請までに実務経験を積める見込みがある方                                                                                         |
| 幼保2年特例<br>(新特例※) | ・幼稚園、認定こども園、保育所等での幼稚園教諭として「3年かつ4,320時間以上の実務経験がある」または2030年3月の申請までに実務経験を積める見込みがある方<br>あわせて<br>・幼保連携型認定こども園での保育士教諭として「2年かつ2,880時間以上の実務経験がある」または2030年3月の申請までに実務経験を積める見込みがある方 |

3年特例 ※

～必要な単位数～

《大学での単位修得 8単位》

- 福祉と養護 → 2単位
- 子ども家庭支援論 → 2単位
- 保健と食と栄養 → 2単位
- 乳児保育 → 2単位

4科目 8単位

- ・テキスト科目 7単位
- ・オンデマンドスクーリング科目 1単位

オンデマンドスクーリングは遠隔のため

通学日数 0日！

※開講科目一覧 P31

幼保2年特例 ※

～必要な単位数～

《大学での単位修得 6単位》

- 福祉と養護 → 2単位
- 子ども家庭支援論 → 1単位
- 保健と食と栄養 → 2単位
- 乳児保育 → 1単位

4科目 6単位

- ・テキスト科目 5単位
- ・オンデマンドスクーリング科目 1単位

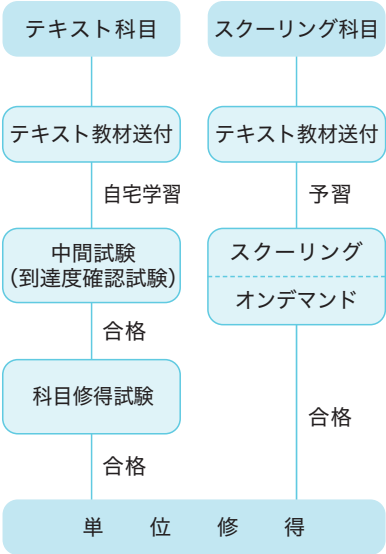
オンデマンドスクーリングは遠隔のため

通学日数 0日！

※開講科目一覧 P31

※募集コース名は、3年特例は「特例」、幼保2年特例は「新特例」としています。

学習の流れ



2025年10月生、2026年4月生日程表(予定) ※日程が変更となる場合には、ホームページでお知らせいたします。

■スクーリング日程

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 10月生 | 冬期 2月 | 夏期 7月 |
| 4月生  | 夏期 7月 | 冬期 2月 |

※スクーリング開講期間(動画視聴・課題提出)は、24時間いつでも受講が可能です。  
※夏期・冬期のうち、どちらかの参加が必要です。

■中間試験(到達度確認試験)受験締切日程

|      |     |    |     |    |
|------|-----|----|-----|----|
| 10月生 | 11月 | 1月 | 6月  | 8月 |
| 4月生  | 6月  | 8月 | 11月 | 1月 |

※自宅にて Web 試験を受験。

■科目修得試験 日程

|      |     |    |     |    |
|------|-----|----|-----|----|
| 10月生 | 12月 | 1月 | 6月  | 8月 |
| 4月生  | 6月  | 8月 | 12月 | 1月 |

※自宅にて Web 試験を受験。  
※受験期間は、いずれも週末 3 日間(金～日)、24 時間受験が可能です。

募集について

1. 募集コース

| コース           |                   | 定員(男女) |
|---------------|-------------------|--------|
| 幼稚園教諭免許状取得コース | 特例 (全 5 科目 8 単位)  | 80名    |
|               | 新特例 (全 4 科目 6 単位) |        |
|               | 一部科目              |        |
| 保育士資格取得コース    | 特例 (全 4 科目 8 単位)  | 40名    |
|               | 新特例 (全 4 科目 6 単位) |        |
|               | 一部科目              |        |

| 登録期       | 受講期間                  |
|-----------|-----------------------|
| 2025年10月生 | 2025年10月1日～2026年9月30日 |
| 2026年4月生  | 2026年4月1日～2027年3月31日  |

・登録期は4月と10月です。



## 2. 登録資格

認定こども園法改正に伴う特例措置を適用して免許・資格を取得する場合、以下の基礎資格および実務経験が必要です。

| 基礎資格                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 幼稚園教諭免許状取得コース                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 高等学校卒業以上で、保育士資格を有する方 |
| 保育士資格取得コース                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 幼稚園教諭免許状を有する方        |
| 実務経験                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                      |
| 1. 以下の学校または施設における勤務経験があること。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                      |
| 保育士 実務経験対象施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                      |
| (1) 幼稚園において、専ら幼児の保育に従事する職員<br>(2) 幼保連携型認定こども園において園児の教育及び保育に従事する職員<br>(3) 次の施設の保育士<br>(a) 児童福祉法第39条第1項に規定する保育所<br>(b) 児童福祉法第59条第1項に規定する施設のうち同法第39条第1項に規定する業務を目的とするものであって就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第3条第1項又は第3項の認定を受けたもの及び同条第11項の規定による公示がされたもの<br>(c) 児童福祉法第6条の3第10項に規定する小規模保育事業(家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準第27条に規定する小規模保育事業A型及び小規模保育事業B型に限る。)を行う施設<br>(d) 児童福祉法第6条の3第12項に規定する事業所内保育事業を行う施設(利用定員が6人以上であるものに限る。)<br>(e) 国、都道府県又は市町村が設置する児童福祉法第59条第1項に規定する業務を目的とする施設のうち同法第6条の3第10項若しくは第12項又は第39条第1項に規定する業務を目的とするもの(専ら一時的に預かり又は宿泊させ必要な保護を行うものを除く)<br>(f) 児童福祉法施行規則第49条の2第3号に規定する施設(いわゆる「幼稚園併設型認可外保育施設」)(専ら一時的に預かり又は宿泊させ必要な保護を行うものを除く)<br>(g) 認可外保育施設のうち、「認可外保育施設指導監督基準」を満たしていることにつき都道府県知事、指定都市の長又は中核市の長から証明書の交付を受けている施設(専ら一時的に預かり又は宿泊させ必要な保護を行うものを除く)<br>なお、既存の認定こども園については、構成するそれぞれの施設((1)幼稚園、(a)保育所、(b)認可外保育施設)として、実務の証明を受けることになります。<br>※実務経験は複数施設における合算でも可能です。<br>※個々の施設が対象であるかどうかについては、各都道府県において、対象施設一覧を作成することとしていますので、そちらで確認してください。 |                      |
| 幼稚園教諭 実務経験対象施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                      |
| (1) 幼稚園(特別支援学校幼稚園含む)<br>(2) 認定こども園<br>(3) 保育所<br>(4) 小規模保育事業(法第6条の3第10項に規定する小規模保育事業(家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準(平成26年厚生労働省令第61号)第27条に規定する小規模保育事業A型及び小規模保育事業B型に限る。))を実施する施設<br>(5) 事業所内保育事業(法第6条の3第12項に規定する事業所内保育事業(利用定員が6人以上の施設))を実施する施設<br>(6) 公立の認可外保育施設<br>(7) へき地保育所<br>(8) 幼稚園併設型認可外保育施設<br>(9) 認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書が交付された認可外保育施設<br>ただし、(9)は次の施設を除くことに注意をしてください。<br>・当該施設を利用する児童の半数以上が一時預かり(入所児童の保護者と日単位又は時間単位で不定期に契約し、保育サービスを提供するもの)による施設<br>・当該施設を利用する児童の半数以上が22時から翌日7時までの全部又は一部の利用による施設<br>・利用定員が5名以下の施設<br>※実務経験は複数施設における合算でも可能です。<br>※個々の施設が対象であるかどうかについては、各都道府県において、対象施設一覧を作成することとしていますので、そちらで確認してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                      |
| 2. 実務証明責任者により実務証明書の発行が可能であること。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                      |
| ・国立学校又は公立学校の教員または諸轄庁<br>・私立学校の職員はその私立学校を併設する学校法人の理事長<br>・勤務している(していた)施設の設置者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                      |
| 3. 最低在職年数が以下の条件を満たしていること。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                      |
| <幼稚園教諭免許状取得コース(特例)・保育士資格取得コース(特例)><br>・3年かつ勤務時間の合計が4,320時間以上の実務経験がある、または <u>2030年3月の申請時まで</u> に実務経験を積める見込みがあること。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                      |
| <幼稚園教諭免許状取得コース(新特例)・保育士資格取得コース(新特例)><br>・3年かつ勤務時間の合計が4,320時間以上の実務経験及び、幼保連携型認定こども園で2年かつ2,880時間以上の実務経験がある、または <u>2030年3月の申請時まで</u> に実務経験を積める見込みがあること。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                      |
| ※幼稚園教諭免許コースを検討されている方は保育士資格を有していること以外に、高等学校(高卒認定試験含む)以上の学校を卒業している必要があります。出願前に必ずご確認ください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                      |

・在学期間中、日本国内に在住していることも登録条件となります。

3. 登録方法

書類選考の上、登録を許可します。（学力試験等はありません）  
※書類不備は、結果通知が遅れる原因となります。出願前に書類の不備がないかご確認をお願いします。  
※登録不許可理由についてのお問い合わせは、一切回答できかねますのでご了承ください。

4. 出願日程

出願日程：（10月生）2025年7月1日～2025年9月30日 / （4月生）2026年1月5日～2026年3月31日  
（出願書類の提出は、10月生：2025年9月30日消印有効 / 4月生：2026年3月31日消印有効）  
提出時期により、合格発表日、学費振込期限が異なります。

| 登録期           | 出願時期        | 登録許可書送付日        | 学費振込期限           |
|---------------|-------------|-----------------|------------------|
| 2025年<br>10月生 | 7月出願者       | 2025年 8 月22日(金) | 2025年 9 月 8 日(月) |
|               | 8月出願者       | 2025年 9 月16日(火) | 2025年 9 月30日(火)  |
|               | 9月15日までの出願者 | 2025年 9 月30日(火) | 2025年10月10日(金)   |
|               | 9月30日までの出願者 | 2025年10月10日(金)  | 2025年10月17日(金)   |
| 2026年<br>4月生  | 1月出願者       | 2026年 2 月18日(水) | 2026年 3 月 4 日(水) |
|               | 2月出願者       | 2026年 3 月18日(水) | 2026年 3 月31日(火)  |
|               | 3月15日までの出願者 | 2026年 3 月31日(火) | 2026年 4 月10日(金)  |
|               | 3月31日までの出願者 | 2026年 4 月10日(金) | 2026年 4 月15日(水)  |

※インターネット出願登録に加え、書類一式の提出をもって出願とします。  
※出願期間中であっても定員を満した場合は、それ以降の募集は実施いたしません。定員を満した場合、ホームページ上に開示いたします。

5. 出願に必要な書類

| ご提出いただく書類           | 留意事項                                                                                        |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 登録志願書（全2ページ）      | インターネット出願登録後、登録料3万円を納入いただくとダウンロード・印刷ができますようになります。<br>指定箇所に写真を貼り付けてください。（カラー、3か月以内に撮影した証明写真） |
| 2 登録資格を証明する書類（見込不可） | ・幼稚園教諭免許状取得希望者：保育士証のコピーまたは資格証明書<br>・保育士資格取得希望者：幼稚園教諭免許状のコピーまたは資格証明書                         |
| 3 誓約書・保証書・同意書       | 署名、押印の上提出してください。                                                                            |

1 はインターネット出願サイト、3 は通信教育課程ホームページよりダウンロードできます。  
詳細につきましては、通信教育課程ホームページ『インターネット出願ガイド』を確認ください。

6. 学費

| (円)      |               |               |        |            |
|----------|---------------|---------------|--------|------------|
| コース      |               | 合計            | 内訳     |            |
|          |               |               | 登録料    | 受講料        |
| 特例（8単位）  | 幼稚園教諭免許状取得コース | 86,000        | 30,000 | 56,000     |
|          | 保育士資格取得コース    |               |        |            |
| 新特例（6単位） | 幼稚園教諭免許状取得コース | 72,000        | 30,000 | 42,000     |
|          | 保育士資格取得コース    |               |        |            |
| 一部科目     | 幼稚園教諭免許状取得コース | 37,000～79,000 | 30,000 | 1単位 @7,000 |
|          | 保育士資格取得コース    |               |        |            |

※受講料には、web科目修得試験の受験料、スクーリング受講料、教材費、補助教材費が含まれています。  
※その他、再スクーリング受講料や証明書発行等のご希望による諸経費については、都度の徴収となります。

《学費の納入方法》  
登録許可後の手続書類とあわせて、指定銀行の振込用紙を送りますので、期日までに納入してください。

《注意事項》  
1. 受講料、教材費は登録料とは異なり、指定銀行の振込用紙を使用した納入となります。  
2. 一度提出した登録手続書類や学費等は、原則として返還できません。十分にご検討の上、提出、納入してください。

7. スケジュール

| 登録期  | 教材到着(予定)         | オンラインガイダンス(予定)         |
|------|------------------|------------------------|
| 10月生 | 2025年10月20日(月)頃  | 2025年10月24日(金) 19:00～  |
| 4月生  | 2026年 4 月20日(月)頃 | 2026年 4 月24日(金) 19:00～ |

# 開講科目一覧

## 幼稚園教諭免許状取得コース

| 【教職に関する科目】 | 免許法施行規則に定める科目         |                            | 左記に対応する本学における開講科目及び単位数 |     |      |        |     |      |        |
|------------|-----------------------|----------------------------|------------------------|-----|------|--------|-----|------|--------|
|            | 科目                    | 各科目に含める必要事項                | 科目名                    | 特例  |      |        | 新特例 |      |        |
|            |                       |                            |                        | 単位数 | テキスト | オンデマンド | 単位数 | テキスト | オンデマンド |
|            | 教職の意義等に関する科目          | ・教職の意義及び教員の役割              | 保育者論                   | 2   | 2    | －      | 2   | 2    | －      |
|            |                       | ・教職の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む）  |                        |     |      |        |     |      |        |
|            | 教育の基礎理論に関する科目         | ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項      | 教育制度論・日本国憲法            | 2   | 2    | －      | 2   | 2    | －      |
|            | 教育課程及び指導法に関する科目       | ・教育課程の意義及び編成の方法            | 保育課程論                  | 1   | 1    | －      | 1   | 1    | －      |
|            |                       | ・保育内容の指導法                  | 保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術       | 2   | 2    | －      | 1   | 1    | －      |
|            |                       | ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む） |                        |     |      |        |     |      |        |
|            | 生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目 | ・幼児理解の理論及び方法               | 幼児理解の理論と方法             | 1   | 1    | －      | －   | －    | －      |
| 合計         |                       |                            | 8                      | 8   | 0    | 6      | 6   | 0    |        |

科目等履修生  
(特例)

## 保育士資格取得コース

| 教科目      | 特例による科目  | 本学開講科目   | 特例  |      |        | 新特例 |      |        |
|----------|----------|----------|-----|------|--------|-----|------|--------|
|          |          |          | 単位数 | テキスト | オンデマンド | 単位数 | テキスト | オンデマンド |
| 社会福祉     | 福祉と養護    | 福祉と養護    | 2   | 2    | —      | 2   | 2    | —      |
| 子ども家庭福祉  |          |          |     |      |        |     |      |        |
| 社会的養護Ⅰ   | 子ども家庭支援論 | 子ども家庭支援論 | 2   | 2    | —      | 1   | 1    | —      |
| 子ども家庭支援論 |          |          |     |      |        |     |      |        |
| 子育て支援    | 保健と食と栄養  | 保健と食と栄養  | 2   | 2    | —      | 2   | 2    | —      |
| 子どもの保健   |          |          |     |      |        |     |      |        |
| 子どもの食と栄養 | 乳児保育     | 乳児保育     | 2   | 1    | 1      | 1   | —    | 1      |
| 乳児保育Ⅰ    |          |          |     |      |        |     |      |        |
| 乳児保育Ⅱ    |          |          |     |      |        |     |      |        |
| 合計       |          |          | 8   | 7    | 1      | 6   | 5    | 1      |

### \* TOPICS \*

一部科目の履修も可能です。

特例制度に必要な8単位のうち、既に特例制度で開講されている科目を他大学等で修得されている方は、一部科目の履修も可能です。

#### ★履修例

##### 幼稚園教諭免許状取得コース

|      |                  |   |
|------|------------------|---|
| 他大学A | 保育者論             | 2 |
| 本学   | 教育制度論・日本国憲法      | 2 |
| 本学   | 保育課程論            | 1 |
| 本学   | 保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術 | 2 |
| 他大学B | 幼児理解の理論と方法       | 1 |

##### 保育士資格取得コース

|      |          |   |
|------|----------|---|
| 他大学A | 福祉と養護    | 2 |
| 本学   | 子ども家庭支援論 | 2 |
| 本学   | 保健と食と栄養  | 2 |
| 他大学B | 乳児保育     | 2 |

※本学における「乳児保育」はテキスト1単位、オンデマンド型スクーリング1単位の計2単位をもって単位取得となります。  
※学費についてはP.30学費「一部科目」をご覧ください。

## Q&A よくある質問

### 出願について

Q 年齢制限はありますか？

A 年齢制限はありません。

Q 出願時、実務証明書の提出が必要ですか？

A 本学への提出は不要です。本学で単位を取得した後、免許・資格申請をする際に必要になります。

Q 高校を卒業後、保育士試験で資格を取得しましたが、出願は可能ですか？

A 可能です。尚、取得できるのは「幼稚園教諭二種免許状」になります。

Q 出願に必要な書類の「2.登録資格を証明する書類」は3ヶ月以内のものが必要ですか？

A 3ヶ月以内の指定はございません。

Q 「2.登録資格を証明する書類」は旧姓でも大丈夫ですか？旧姓の場合、住民票等をつける必要はありますか？

A 旧姓のものでかまいません。住民票等も提出不要です。

Q 現在、実務経験が満たしていませんが、登録可能でしょうか？

A 登録可能です。  
ただし、特例制度・新特例制度は以下の実務経験を満たしていることが、免許、資格の申請条件となっています。  
※「現行特例・3年特例」は3年かつ4,320時間以上の実務経験  
※「新特例・幼保2年特例」は、3年かつ4,320時間以上に加えて、幼保連携型認定こども園での2年以上かつ2,880時間以上の実務経験  
そのため、単位を修得していても、実務経験を満たさなければ、免許、資格の申請はできません。  
なお、本特例制度は2030年3月末までの期間限定の制度となっているため、ご注意ください。

### 通信教育について

Q 通信教育が初めてなので、勉強の進め方や試験などが心配です。

A 科目担当教員に直接質問ができるオフィスアワーや、学習支援システム（CoLS）で学習が進めやすいようにサポートします。また、その他のテキスト学習においては「学習の手引き」により、学習のポイントや課題がまとめられており、教科書を効率よく学習ができるようになっています。学習する上での不明点は、キャンパスアドバイザーがサポートしますので、ご安心ください。

Q 自宅にパソコンが無くても受講できますか？

A Web科目修得試験やスクーリングの受講等、パソコンで学習することを前提にしています。

Q スマートフォンから学習支援システム（CoLS）の閲覧や試験の申し込みは可能ですか？

A 可能です。



# 出願書類確認表

全ての書類を出願用封筒に入れて、ご提出ください。

出願用封筒：市販の角2封筒（A4サイズの書類が入る封筒）

Post@net から「封筒貼付用宛名シート」をダウンロード、印刷し、封筒に貼付の上、本学まで郵送ください。

| 確認欄 | 出願書類                | 備考                                                                                       |
|-----|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | 1 登録志願書（全2ページ）      | インターネット出願登録後、登録料を納入いただくと、ダウンロード・印刷ができるようになります。<br>指定箇所に写真を貼り付けてください。（カラー、3ヶ月以内に撮影した証明写真） |
|     | 2 登録資格を証明する書類（見込不可） | ・幼稚園教諭免許状取得希望者：保育士証のコピーまたは資格証明書<br>・保育士資格取得希望者：幼稚園教諭免許状のコピーまたは資格証明書                      |
|     | 3 誓約書・保証書・同意書       | 通信教育課程ホームページよりダウンロード・印刷してご記入ください。                                                        |

詳細につきましては、通信教育課程ホームページ『インターネット出願ガイド』をご参照ください。

## 履修登録確認表 ※確認用

### ①幼稚園教諭免許状取得コースを選択した方

【特例（全5科目8単位）】授業料56,000円

|                  |     |
|------------------|-----|
| 保育者論             | 2単位 |
| 教育制度論・日本国憲法      | 2単位 |
| 保育課程論            | 1単位 |
| 保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術 | 2単位 |
| 幼児理解の理論と方法       | 1単位 |

【新特例（全4科目/計6単位）】授業料42,000円

|                  |     |
|------------------|-----|
| 保育者論             | 2単位 |
| 教育制度論・日本国憲法      | 2単位 |
| 保育課程論            | 1単位 |
| 保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術 | 1単位 |

【一部科目】1単位7,000円～7単位49,000円

| 科目名              | 特例  | 新特例 |
|------------------|-----|-----|
| 保育者論             | 2単位 | 2単位 |
| 教育制度論・日本国憲法      | 2単位 | 2単位 |
| 保育課程論            | 1単位 | 1単位 |
| 保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術 | 2単位 | 1単位 |
| 幼児理解の理論と方法       | 1単位 | —   |

※1 単位数はご自身でご確認ください。

## ②保育士資格取得コースを選択した方

【特例 全4科目・計8単位】授業料56,000円

|          |     |
|----------|-----|
| 福祉と養護    | 2単位 |
| 子ども家庭支援論 | 2単位 |
| 保健と食と栄養  | 2単位 |
| 乳児保育 ※1  | 2単位 |

【新特例（全4科目/計6単位）】授業料42,000円

|          |     |
|----------|-----|
| 福祉と養護    | 2単位 |
| 子ども家庭支援論 | 1単位 |
| 保健と食と栄養  | 2単位 |
| 乳児保育 ※2  | 1単位 |

【一部科目】1単位7,000円～7単位49,000円 ※3

| 科目名        | 特例  | 新特例 |
|------------|-----|-----|
| 福祉と養護      | 2単位 | 2単位 |
| 子ども家庭支援論   | 2単位 | 1単位 |
| 保健と食と栄養    | 2単位 | 2単位 |
| 乳児保育 ※1・※2 | 2単位 | 1単位 |

※1 特例の乳児保育は、テキスト1単位とオンデマンドスクーリング1単位の計2単位をもって単位取得となります。

※2 新特例の乳児保育はオンデマンドスクーリング1単位となります。

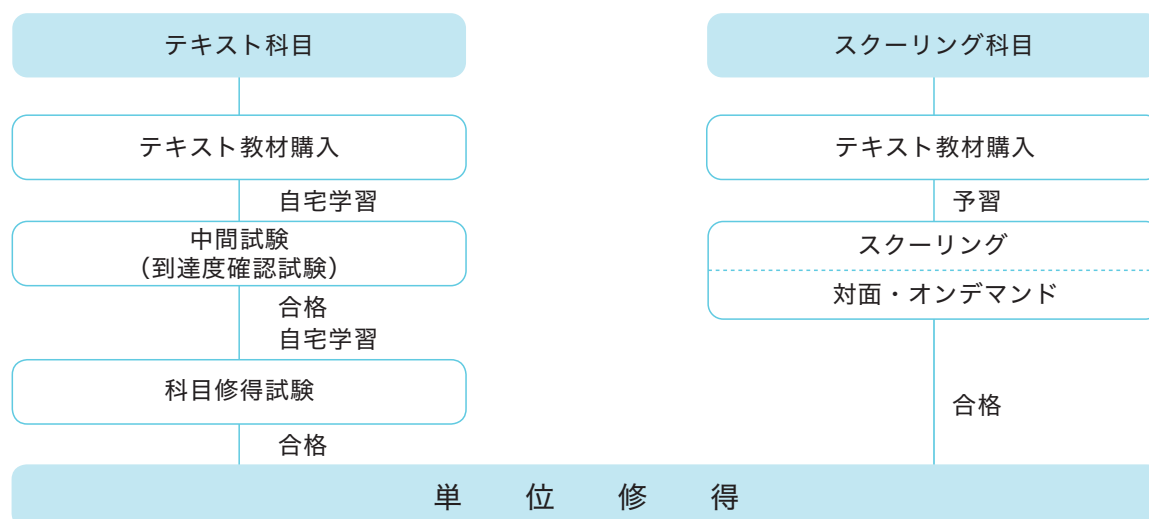
※3 単位数はご自身でご確認ください。

# 科目等履修生(一般)概要

## ◆科目等履修生(一般)

本学開講科目に興味のある方が、幼児教育・保育分野への理解を深める目的で学習をすることができます。

## 学習の流れ



科目等履修生  
(一般)

# 募集について

## 1. 募集コース

| 入学区分                | 募集コース     | 単位数 | 科目                              |        |
|---------------------|-----------|-----|---------------------------------|--------|
| 小田原<br>短期大学<br>(本校) | こども福祉コース  | 8単位 | 社会福祉                            | テキスト   |
|                     |           |     | 子育て支援                           | スクーリング |
|                     |           |     | 子ども家庭福祉                         | テキスト   |
|                     |           |     | 社会的養護Ⅰ                          | テキスト   |
|                     |           |     | 社会的養護Ⅱ                          | スクーリング |
|                     | こども発達コース  | 7単位 | 子どもの保健                          | テキスト   |
|                     |           |     | 子ども家庭支援の心理学                     | テキスト   |
|                     |           |     | 子どもの健康と安全                       | スクーリング |
|                     |           |     | 特別支援教育・保育概論                     | テキスト   |
|                     |           |     | 障害児保育                           | スクーリング |
|                     | ほいく再学習コース | 8単位 | 健康指導法                           | テキスト   |
|                     |           |     | 表現指導法                           | テキスト   |
|                     |           |     | 言葉指導法                           | スクーリング |
|                     |           |     | 環境指導法                           | スクーリング |
|                     |           |     | 人間関係指導法                         | テキスト   |
|                     | 科目選択      | —   | ・開講科目の定員等により<br>履修をお断りすることがあります |        |

| 登録期       | 受講期間                  |
|-----------|-----------------------|
| 2025年10月生 | 2025年10月1日～2026年9月30日 |
| 2026年4月生  | 2026年4月1日～2027年3月31日  |

## 2. 登録資格

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者（2026年4月生は2026年3月卒業見込も可）
  - (2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者（2026年4月生は2026年3月卒業見込・修了見込も可）
  - (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者）
  - (4) 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者）
  - (5) 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
  - (6) 我が国において、外国の高等学校相当として指定された外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程を修了した者）
  - (7) 高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者（2026年4月生は2026年3月修了見込も可）
  - (8) 指定された専修学校の高等課程を修了した者（2026年4月生は2026年3月修了見込も可）
  - (9) 旧制学校等を修了した者
  - (10) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格を保有する者
  - (11) 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者
  - (12) 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者
- ・在学期間中、日本に在住していることも登録条件となります。

## 3. 登録方法

書類選考の上、登録を許可します。（学力試験等はありません）

※書類不備は、結果通知が遅れる最大の原因となります。出願前に書類の不備がないか確認をお願いします。  
 ※不許可理由についてのお問い合わせは、一切回答できかねますのでご了承ください。

## 4. 出願日程

出願日程：（2025年10月生）2025年7月1日～2025年9月30日 / （2026年4月生）2026年1月5日～2026年3月31日  
 （出願書類の提出は、10月生：2025年9月30日消印有効 / 4月生：2026年3月31日消印有効）  
 提出時期により、合格発表日、学費振込期限が異なります。

| 登録期           | 出願時期        | 登録許可書送付日        | 学費振込期限           |
|---------------|-------------|-----------------|------------------|
| 2025年<br>10月生 | 7月出願者       | 2025年 8 月22日(金) | 2025年 9 月 8 日(月) |
|               | 8月出願者       | 2025年 9 月16日(火) | 2025年 9 月30日(火)  |
|               | 9月15日までの出願者 | 2025年 9 月30日(火) | 2025年10月10日(金)   |
|               | 9月30日までの出願者 | 2025年10月10日(金)  | 2025年10月17日(金)   |
| 2026年<br>4月生  | 1月出願者       | 2026年 2 月18日(水) | 2026年 3 月 4 日(水) |
|               | 2月出願者       | 2026年 3 月18日(水) | 2026年 3 月31日(火)  |
|               | 3月15日までの出願者 | 2026年 3 月31日(火) | 2026年 4 月10日(金)  |
|               | 3月31日までの出願者 | 2026年 4 月10日(金) | 2026年 4 月15日(水)  |

※インターネット出願登録に加え、書類一式の提出をもって出願とします。  
 ※出願期間中であっても、定員を満たした場合は、それ以降の募集は実施いたしません。定員を満たした場合はホームページ上に開示いたします。  
 書類選考にて、登録審査を実施します。学力試験等はありません。  
 選考結果は可否通知書類にてご確認ください。

## 5. 出願に必要な書類

| ご提出いただく書類※     | 留意事項                                                                                        |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 登録志願書（全2ページ） | インターネット出願登録後、登録料3万円を納入いただくとダウンロード・印刷ができますようになります。<br>指定箇所に写真を貼り付けてください。（カラー、3か月以内に撮影した証明写真） |
| 2 登録資格を証明する書類  | 卒業証明書等（詳細は「P.39出願書類確認票をご確認ください」）                                                            |
| 3 誓約書・保証書・同意書  | 署名、押印の上提出してください。                                                                            |
| 4 履修申請書（一般）    | 『科目選択』を希望の方のみ。必要事項をご記入ください。                                                                 |

1 はインターネット出願サイト、3、4 は通信教育課程ホームページよりダウンロードできます。



## 6. 学費

|     | 単位 (円)    |
|-----|-----------|
| 登録料 | 30,000    |
| 受講料 | 1単位 7,000 |

※別途、テキスト、教材費等がかかります。

### 《学費の納入方法》

登録許可後の手続き書類とあわせて、指定銀行の振込用紙をお送りしますので、期日までに納入してください。

### 《注意事項》

1. 受講料、教材費は登録料とは異なり、指定銀行の振込用紙を使用した納入となります。
2. 一度提出した登録手続き書類や学費等は、原則として返還できません。
3. 継続手続（1年間30,000円）をし、在学期間を延長した際、未修得の単位がスクーリング単位の場合、再受講料として別途7,000円が必要となります。

## 開講科目について

P.12 学則科目ページをご確認ください。

※実習関連科目は受講いただけません。

## Q&A よくある質問

### 出願について

Q 年齢制限はありますか？

A 年齢制限はありません。

Q だれでも受講できますか？

A 登録資格を満たしている方であればどなたでも受講することができます。登録資格についてはP36をご確認ください。

Q 免許・資格の取得が目的でなくても受講できますか？

A 可能です。本学開講科目に興味のある方が受講できます。

Q 特定の科目だけ受講することはできますか？

A 可能です。募集コースの「科目選択」に出願してください。

### 通信教育について

Q 通信教育が初めてなので、勉強の進め方や試験などが心配です。

A 科目担当教員に直接質問ができるオフィスアワーや、学習支援システム「CoLS」で学習が進めやすいようにサポートします。また、テキスト科目においては、「学習の手引き」に学習のポイントや課題がまとめられており、効率よく学習ができるようになっています。

Q 自宅にパソコンがなくても受講できますか

A Web科目修得試験やオンデマンド型スクーリングの受講など、パソコンで学習することを前提にしています。

Q スマートフォンから学習支援システム「CoLS」の閲覧や試験の申込は可能ですか？

A 可能です。

# 出願書類確認表

全ての書類を出願用封筒に入れて、ご提出ください。

出願用封筒：市販の角2封筒（A4サイズの書類が入る封筒）

Post@net から「封筒貼付宛名シート」をダウンロード、印刷し、封筒に貼付の上、本学まで郵送ください。

| 確認欄 | ご提出いただく書類      | 備考                                                                                      |                                       |
|-----|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
|     | 1 登録志願書（全2ページ） | インターネット出願登録後、登録料を納入いただくとダウンロード・印刷ができるようになります。<br>指定箇所に写真を貼り付けてください。（カラー、3か月以内に撮影した証明写真） |                                       |
|     | 2 登録資格を証明する書類  | 最終学校の卒業（見込）証明書<br>その他 下記参照                                                              |                                       |
| その他 |                | 高等学校卒業程度認定試験合格                                                                          | 高等学校卒業程度認定試験合格証                       |
|     |                | 外国の学校を卒業された方※1<br>（いずれかの書類を提出）                                                          | 最終学校の卒業（見込）証明書<br>調査書（最終卒業学校作成、厳封のこと） |
|     |                |                                                                                         | 国際バカロレア資格証書 等                         |
|     | 外国籍の方          | 特別永住者証明書又は在留カードの写し<br>日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書 ※2                                         |                                       |
|     | 3 誓約書・保証書・同意書  | 通信教育課程ホームページよりダウンロード・印刷してご記入ください。                                                       |                                       |
|     | 4 履修申請書（一般）    | 『科目選択』を希望の方のみ。通信教育課程ホームページよりダウンロード・印刷してご記入ください。                                         |                                       |

- ・証明書類はすべて出願前6ヶ月以内のものを提出してください。いずれもコピー不可とします。
- ・卒業見込の場合は、卒業証明書の代わりに「卒業見込証明書」を提出してください。  
また、4月末日までに卒業証明書を提出してください。  
期日までに提出がない場合は、登録許可を取り消します。

※1 外国語の証明書を提出する場合は、証明書の日本語訳を添付してください。

※2 該当の方のみ

科目等履修生  
(一般)

## 履修登録確認表 ※確認用

| コース選択     | 単位数 | 科目                          |        | 受講料                   | 修学期間                                  |                                      |
|-----------|-----|-----------------------------|--------|-----------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
|           |     |                             |        |                       | 2025年10月生                             | 2026年4月生                             |
| こども福祉コース  | 8単位 | 社会福祉                        | テキスト   | 7,000円×8単位<br>¥56,000 | 2025年<br>10月1日<br>}<br>2026年<br>9月30日 | 2026年<br>4月1日<br>}<br>2027年<br>3月31日 |
|           |     | 子育て支援                       | スクーリング |                       |                                       |                                      |
|           |     | 子ども家庭福祉                     | テキスト   |                       |                                       |                                      |
|           |     | 社会的養護Ⅰ                      | テキスト   |                       |                                       |                                      |
|           |     | 社会的養護Ⅱ                      | スクーリング |                       |                                       |                                      |
| こども発達コース  | 7単位 | 子どもの保健                      | テキスト   | 7,000円×7単位<br>¥49,000 |                                       |                                      |
|           |     | 子ども家庭支援の心理学                 | テキスト   |                       |                                       |                                      |
|           |     | 子どもの健康と安全                   | スクーリング |                       |                                       |                                      |
|           |     | 特別支援教育・保育概論                 | テキスト   |                       |                                       |                                      |
|           |     | 障害児保育                       | スクーリング |                       |                                       |                                      |
| ほいく再学習コース | 8単位 | 健康指導法                       | テキスト   | 7,000円×8単位<br>¥56,000 |                                       |                                      |
|           |     | 表現指導法                       | テキスト   |                       |                                       |                                      |
|           |     | 言葉指導法                       | スクーリング |                       |                                       |                                      |
|           |     | 環境指導法                       | スクーリング |                       |                                       |                                      |
|           |     | 人間関係指導法                     | テキスト   |                       |                                       |                                      |
| 科目選択      | 一   | ・開講科目の定員等により履修をお断りすることがあります |        | 1単位<br>¥7,000         |                                       |                                      |

※受講料には科目修得試験の受講料・再試験料、スクーリング受講料が含まれています。

※一度提出した登録手続き書類や学費等は、原則返却返金できません。

※その他、証明書発行等の希望による諸費用については、都度の徴収となります。

※別途教材費がかかります。

## アクセスマップ

### 小田原短期大学（本校）

〒250-0045 神奈川県小田原市城山4-5-1

#### 小田原駅までの所要時間（目安）

【JR東海道線】

横浜駅から57分

富士駅から63分

【小田急線】

町田駅から57分

本厚木駅から40分

#### 小田原駅からの所要時間（目安）

小田原駅東口・西口から徒歩15分



### 千歳スクール

〒066-0042 北海道千歳市東雲町3-2-6

#### 駅からの所要時間（目安）

【JR千歳線】

千歳駅西口から徒歩15分



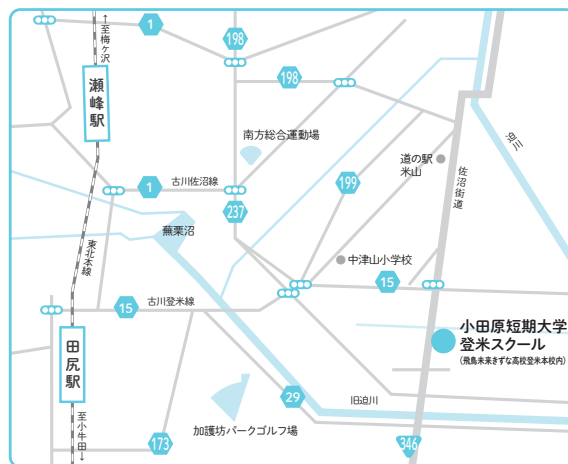
### 登米スクール

〒987-0331 宮城県登米市米山町  
中津山字筒場坪215

#### 駅からの所要時間（目安）

【JR東北本線】

瀬峰駅または田尻駅から車で18分

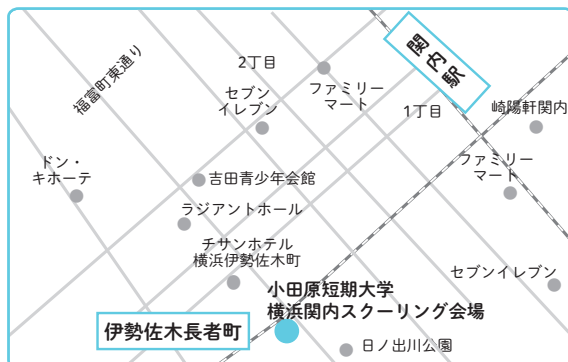


### 横浜関内スクーリング

〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町4-9-10-8F  
(飛鳥未来高等学横浜関内キャンパス)

#### 駅からの所要時間（目安）

◇関内駅より徒歩6分





## アクセスマップ

### 大阪スクール

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-7-23

#### 所要時間(目安)

JR「新大阪駅」正面口から徒歩5分



### 延岡スクール

〒882-0054 宮崎県延岡市栄町2-9

#### 延岡駅までの所要時間 (目安)

【JR日豊本線】

大分駅から119分

宮崎駅から64分

#### 延岡駅からの所要時間 (目安)

延岡駅西口から徒歩5分



### 名護スクール

〒905-0011 沖縄県名護市宮里5-13-7  
(名護市立大宮幼稚園)

#### 所要時間 (目安)

◇バス【22名護うるま線】

「宮里一丁目」停留所から徒歩5分

◇車【沖縄自動車道】

「許田IC」から6.3km



### 宮古島スクール

〒906-0007 沖縄県宮古島市平良東仲宗根807  
(宮古島市未来創造センター内)

#### 宮古空港からの所要時間 (目安)

宮古空港から車で8分





小田原短期大学

*Odawara Junior College*

保育学科 通信教育課程

〒250-0045 神奈川県小田原市城山4-5-1

TEL 0465-23-6505 (通信直通)

MAIL [tsushin@odawara.ac.jp](mailto:tsushin@odawara.ac.jp)

URL <http://tsushin.odawara.ac.jp/>